

地域の支え合い活動等に関する アンケート調査結果報告書

湯梨浜町長寿福祉課

第1章 調査の概要

I. 調査の目的

本アンケートは、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らしていくことができるよう、介護保険制度では補えない高齢者の日常生活における支援の仕組みづくりに向けた取組を検討するにあたっての基礎資料を得ることを目的として実施した。

II. 調査の概要

1 対象者と対象数

基準日時点の湯梨浜町の65歳以上人口5,227人から、施設入所者171人を除く5,056人のうち、要介護・要支援の認定及び総合事業のサービスを受けていない者4,035人

2 調査方法

基本チェックリストとともに保健推進員に配布・回収を依頼した。

3 調査基準日

平成31年3月31日

4 調査期間（発送～回収期限）

平成31年2月20日（水）～平成31年3月22日（金）

5 回収状況

発送数4,035件に対し、回収数3,569件（回収率88.5%）であった。

第2章 調査結果

1 あなたやあなたの家族、生活状況について

問1 お住まいの地区（集落）を教えてください。

（羽合地域）

地区名	65歳以上	回答者数	割合	地区名	65歳以上	回答者数	割合
長瀬西部	102	76	74.5%	東田後	159	117	73.6%
長瀬中部	164	110	67.1%	はわい温泉	73	49	67.1%
長瀬中央	79	53	67.1%	上浅津南部	166	125	75.3%
長瀬東部	55	40	72.7%	上浅津北部	99	67	67.7%
長瀬団地	16	6	37.5%	下浅津	116	79	68.1%
久留西	102	65	63.7%	南谷	83	53	63.9%
久留東	69	53	76.8%	光吉	28	17	60.7%
新川	44	37	84.1%	橋津	247	181	73.3%
浜	25	20	80.0%	上橋津	24	18	75.0%
水下	60	42	70.0%	赤池	26	18	69.2%
田後南部	151	102	67.5%	宇野	160	100	62.5%
田後北部	146	110	75.3%	羽合地域計	2,194	1,538	70.1%

（東郷地域）

地区名	65歳以上	回答者数	割合	地区名	65歳以上	回答者数	割合
宮内	44	36	81.8%	旭	172	130	75.6%
藤津	57	38	66.7%	松崎一区	115	83	72.2%
野方	56	41	73.2%	松崎二区	37	28	75.7%
白石	22	16	72.7%	松崎三区	40	24	60.0%
方地	65	46	70.8%	松崎四区	10	6	60.0%
漆原	53	39	73.6%	松崎五区	45	32	71.1%
北福	17	9	52.9%	長和田	120	99	82.5%
福永	7	6	85.7%	長江	128	96	75.0%
引地	61	43	70.5%	長江2	7	4	57.1%
小鹿谷	75	59	78.7%	門田	118	87	73.7%
田畑	25	16	64.0%	佐美	34	27	79.4%
田畑二	93	57	61.3%	埴見	50	40	80.0%
国信	55	36	65.5%	羽衣石	31	19	61.3%
別所	55	40	72.7%	野花	47	31	66.0%
方面	26	18	69.2%	尾長	23	20	87.0%
高辻	38	21	55.3%	白檜	21	13	61.9%
川上	50	37	74.0%	レクタウン	20	15	75.0%
麻畑	4	3	75.0%	三通田	2	2	100.0%
久見	20	13	65.0%	東郷地域計	1,938	1,391	71.8%
中興寺	95	61	64.2%				

(泊地域)

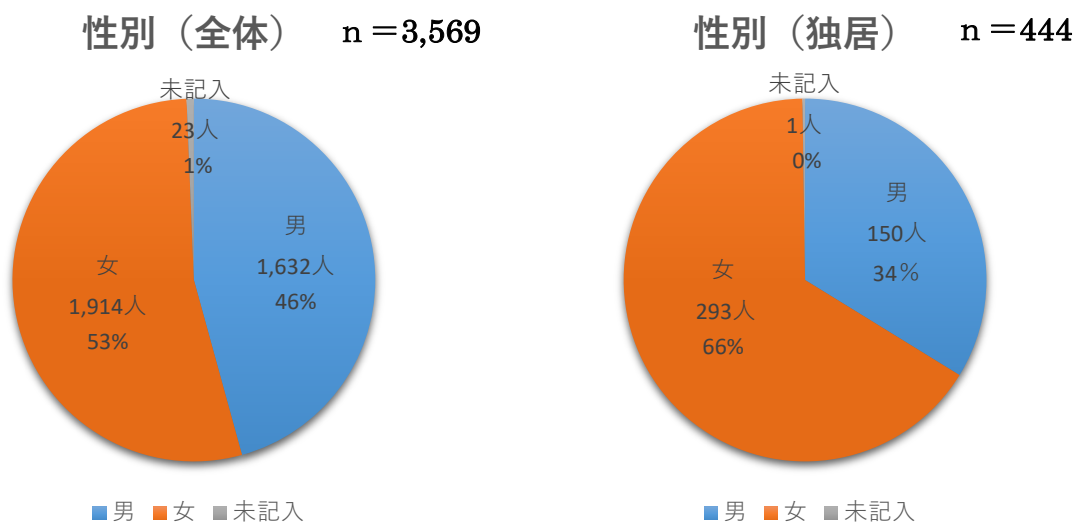
地区名	65歳以上	回答者数	割合	地区名	65歳以上	回答者数	割合
小浜	34	22	64.7%	泊6区	47	33	70.2%
筒地	6	6	100.0%	港区	5	3	60.0%
石脇	116	79	68.1%	園	161	107	66.5%
泊1区	45	28	62.2%	浜山区	24	15	62.5%
泊2区	38	28	73.7%	原	70	50	71.4%
泊3区	73	48	65.8%	宇谷	209	161	77.0%
泊4区	47	27	57.4%	泊地域計	924	640	69.3%
泊5区	49	33	67.3%				

問2 該当する番号に○をつけてください。

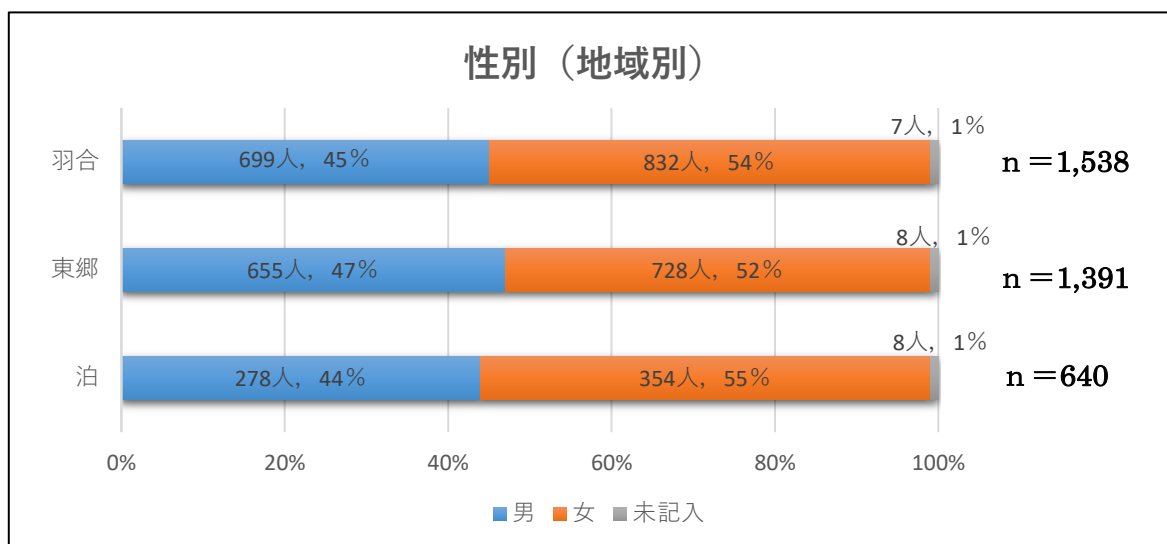
① 性別

性別については、「女性」が53%、「男性」が46%となっている。

独居のみに限定した場合は、「女性」が66%、「男性」が34%となった。



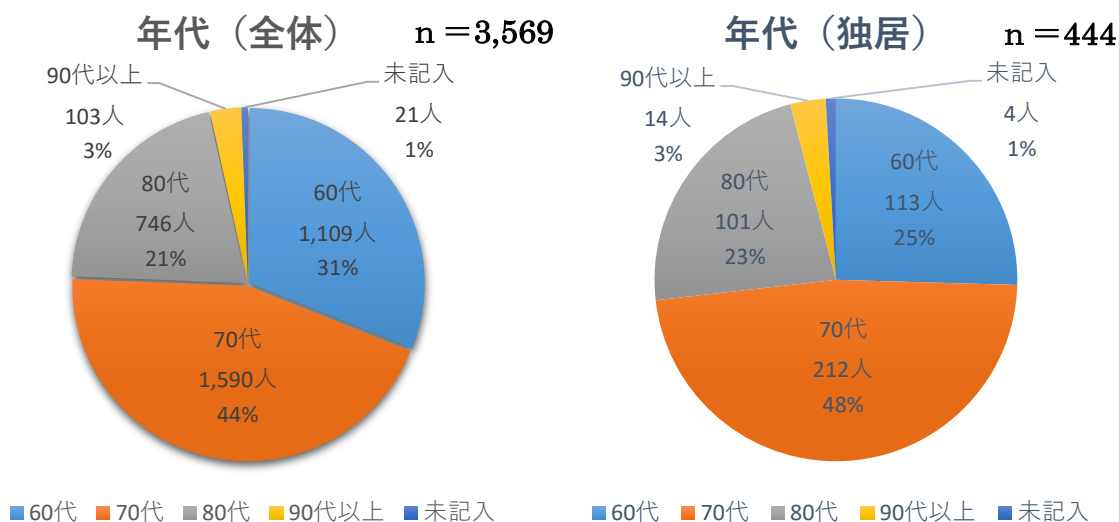
地域別の状況は下記のとおり。



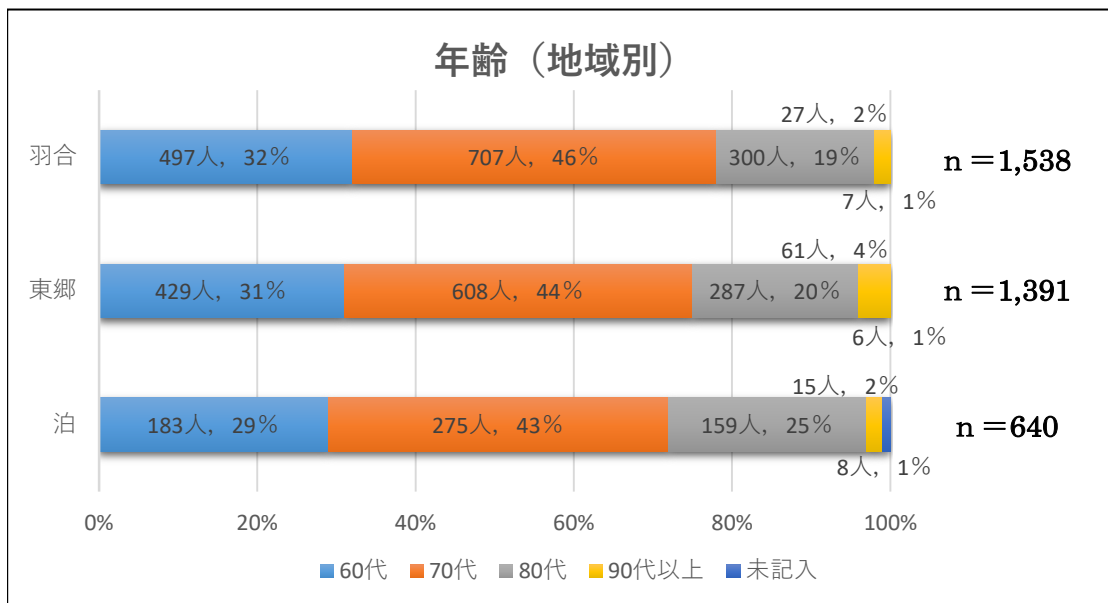
② 年代

年代については、「70代」が44%と最も高く、次いで「60代」が31%、「80代」が21%となっている。

独居のみに限定した場合は、「60代」の割合が減り、「70代」、「80代」の割合が増える結果となった。

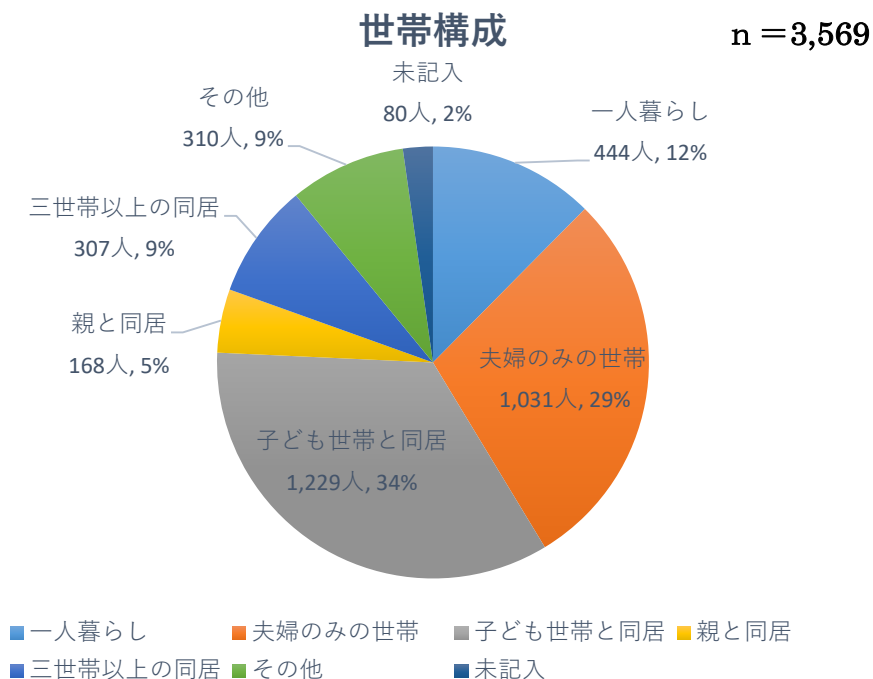


地域別の状況は下記のとおり。

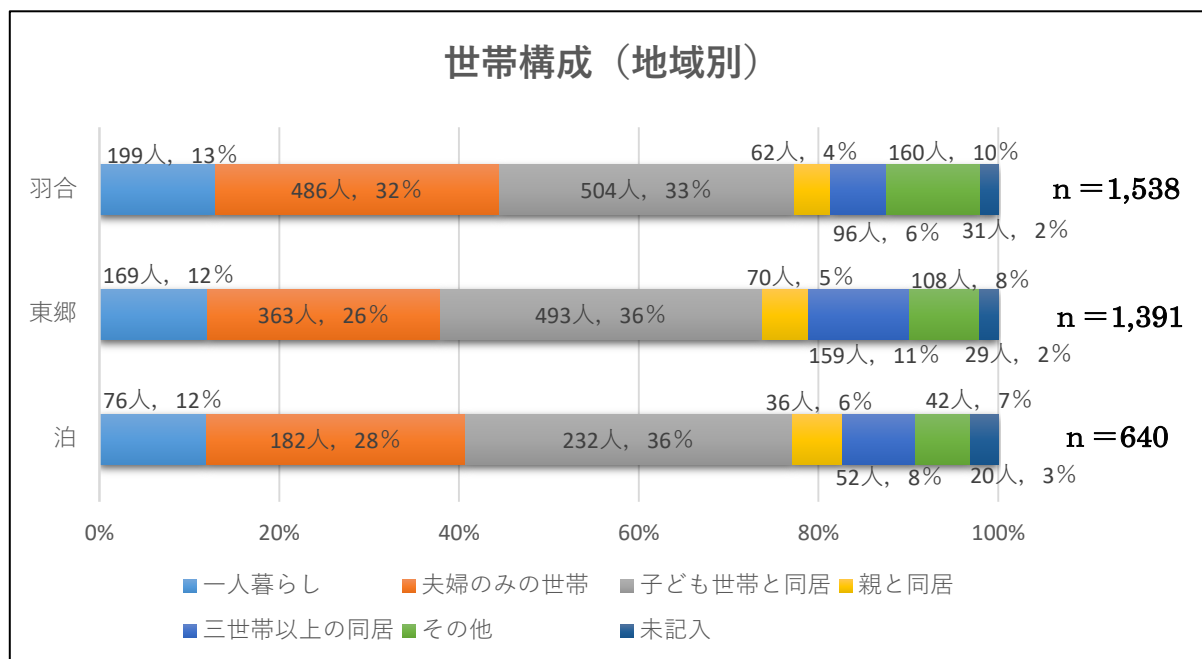


③ 世帯構成

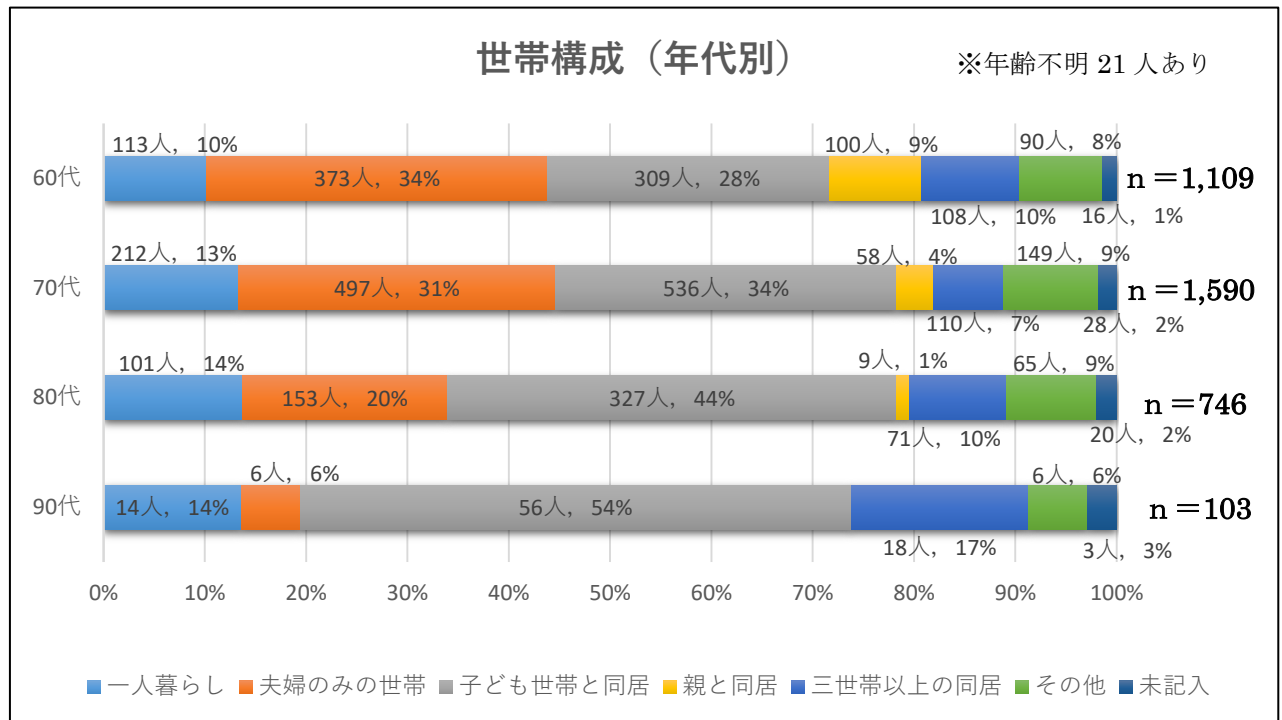
世帯構成については、「子ども世帯と同居」が34%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」が29%、「一人暮らし」が12%となっている。



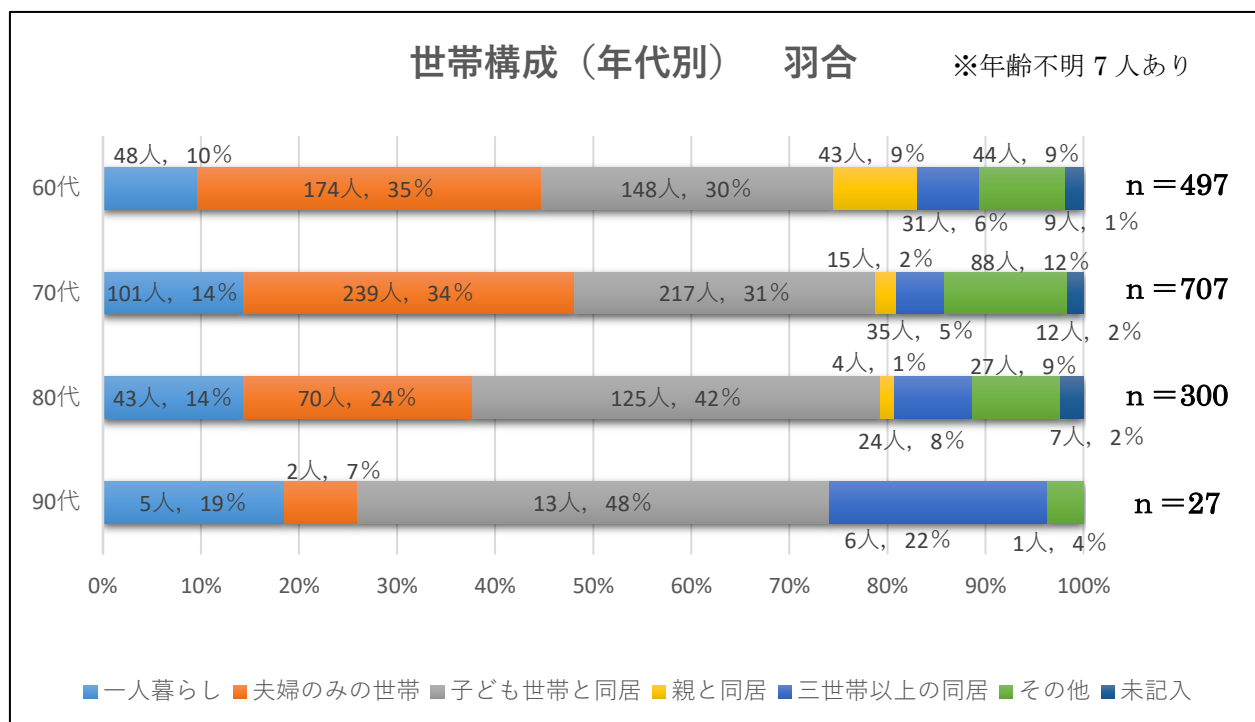
地域別にみると、羽合地域は東郷・泊地域に比べ「夫婦のみの世帯」の割合が多く、逆に「子ども世帯との同居」の割合が少なくなっている。



年代別に見ると、年代が上がるにつれ、「夫婦のみの世帯」の割合が減り、「子ども世帯と同居」の割合が増えている。また、どの年代においても一定の割合を「一人暮らし」が占めている。

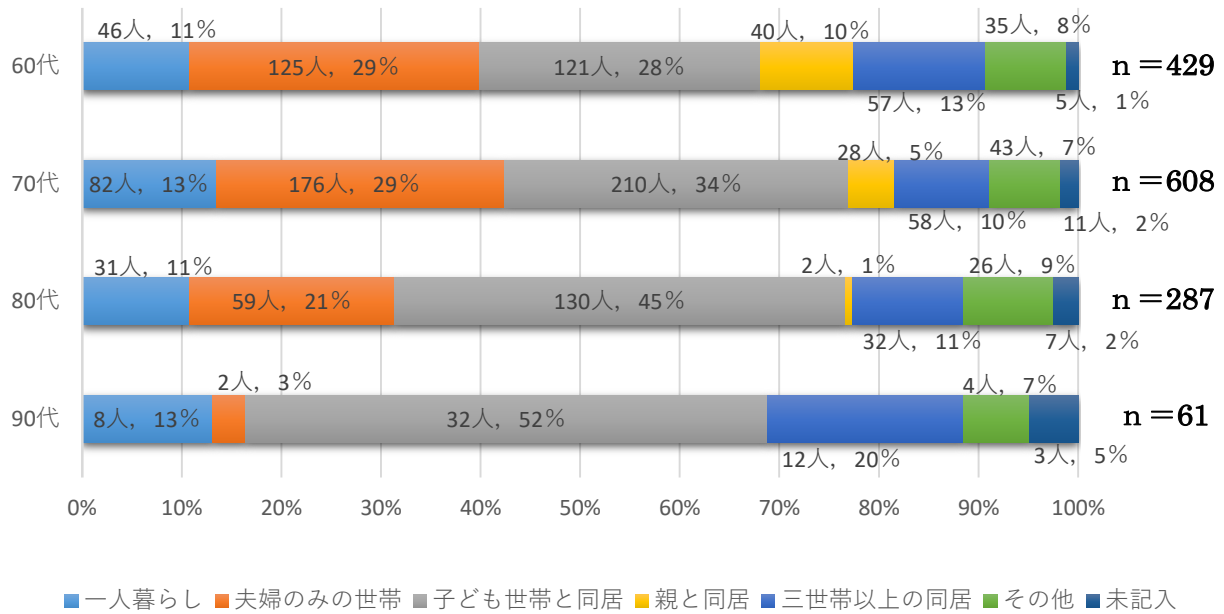


地域別の状況は下記のとおり。



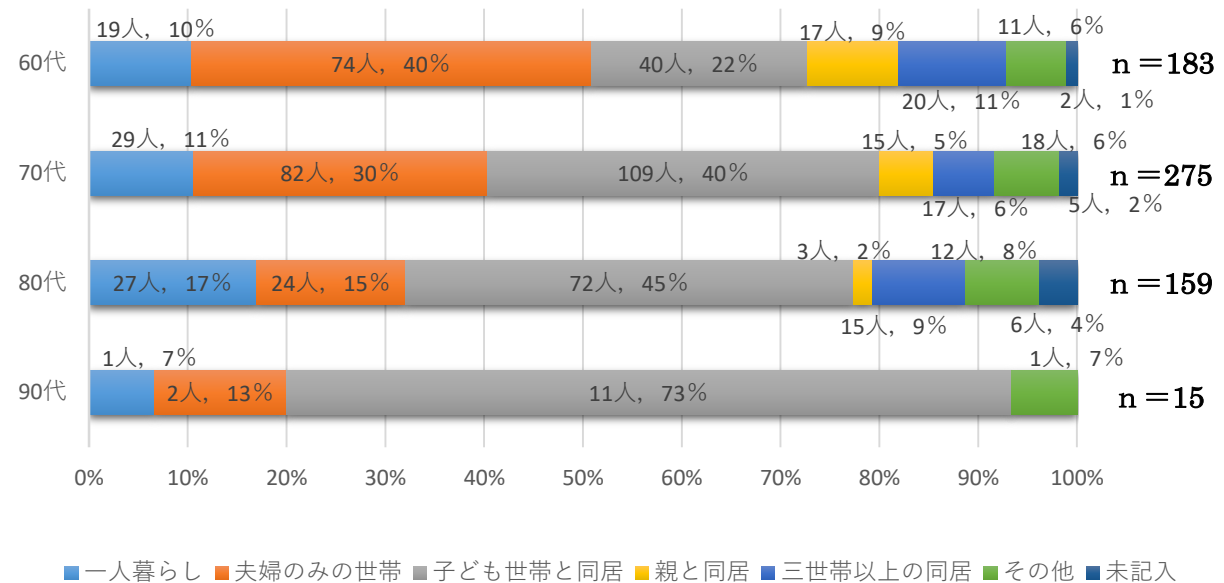
世帯構成（年代別） 東郷

※年齢不明 6 人あり



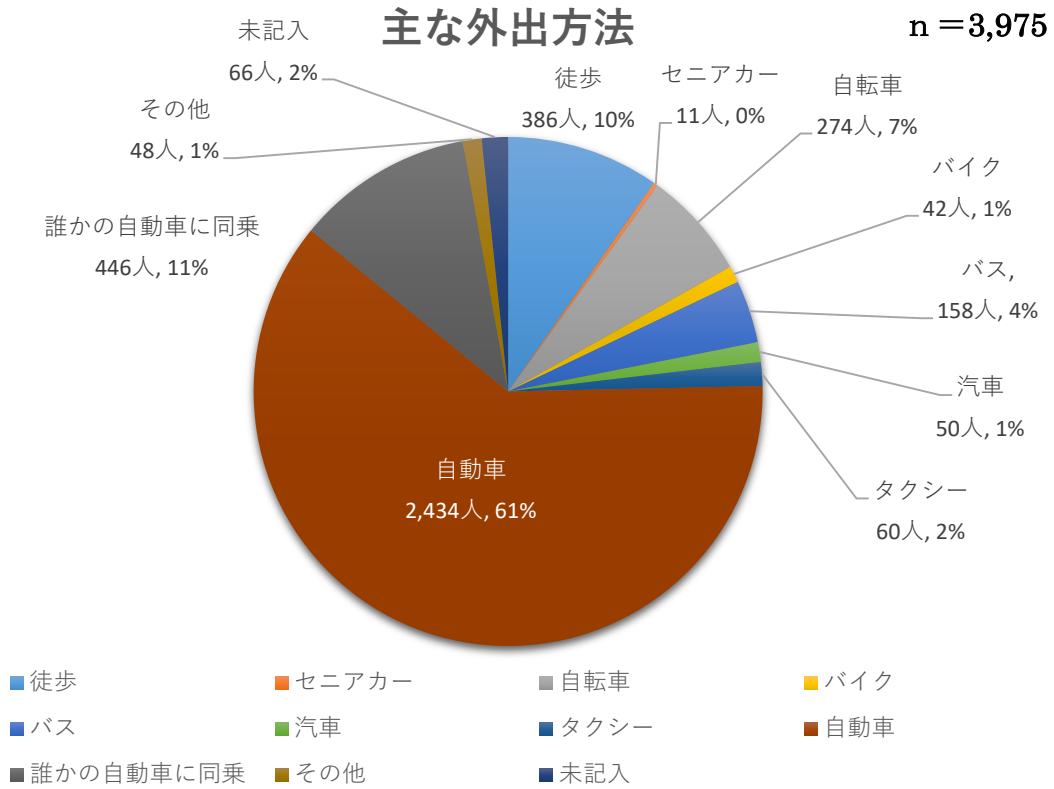
世帯構成（年代別） 泊

※年齢不明 8 人あり

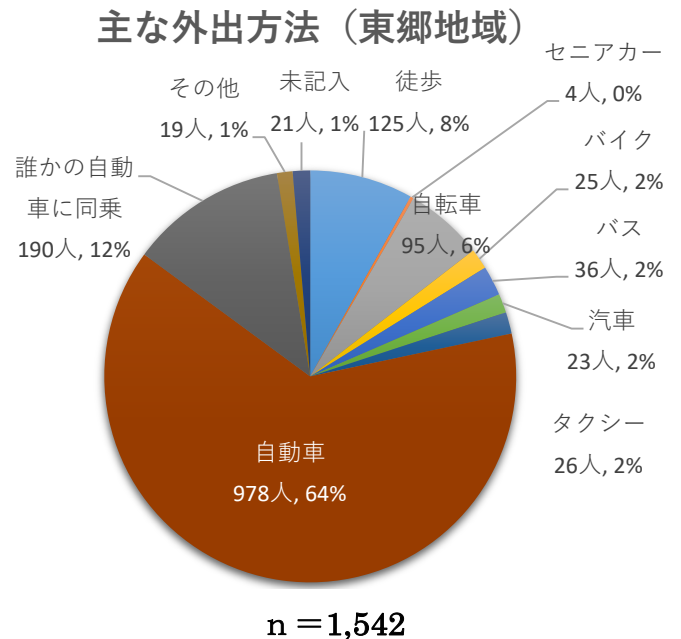
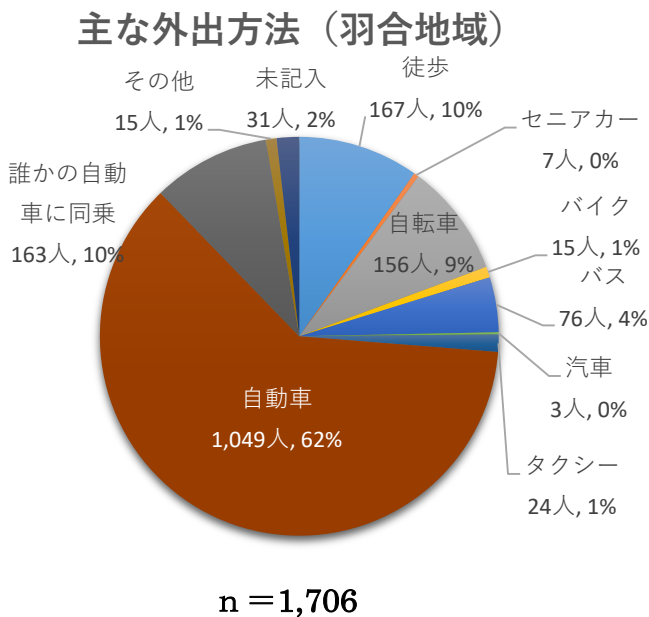


④ 普段の主な外出方法

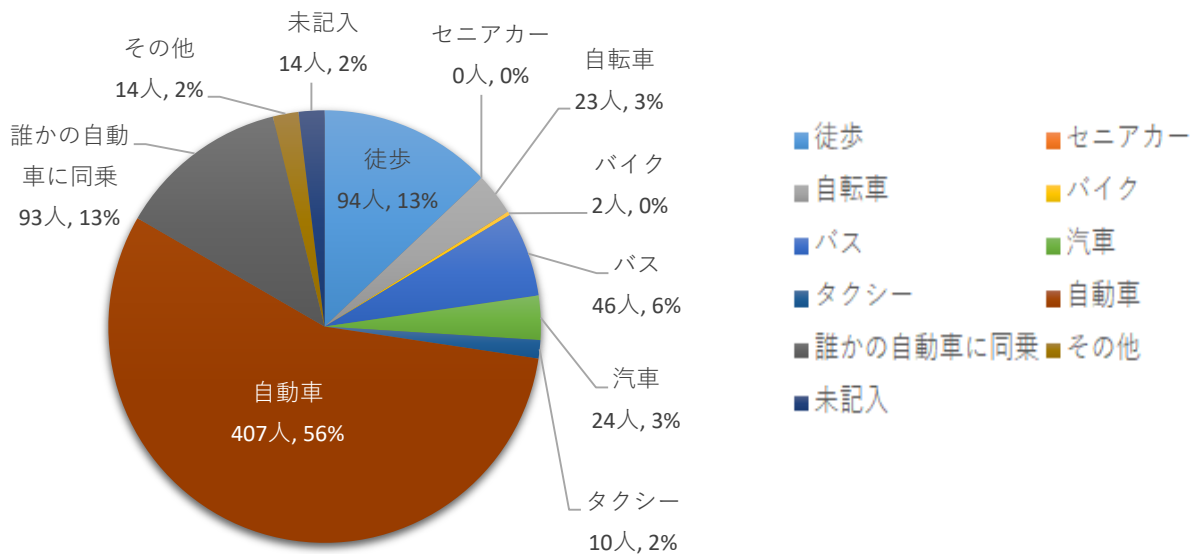
普段の主な外出方法については、圧倒的に「自動車」が多く、61%となっている。次いで、「誰かの自動車に同乗」が11%、「徒歩」が10%となっている。公共交通機関である「バス」、「汽車」は合わせても5%にとどまっている。なお、この設問は単数回答であったが、複数回答が多かったため、割合の分母を総回答数としている。



地域別は下記のとおり。



主な外出方法（泊地域）



n = 727

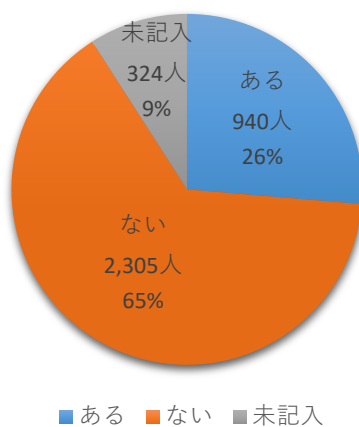
2 日常生活について

問3 生活する動作等のなかで不安や困っていると感じていることはありますか。(いくつでも)

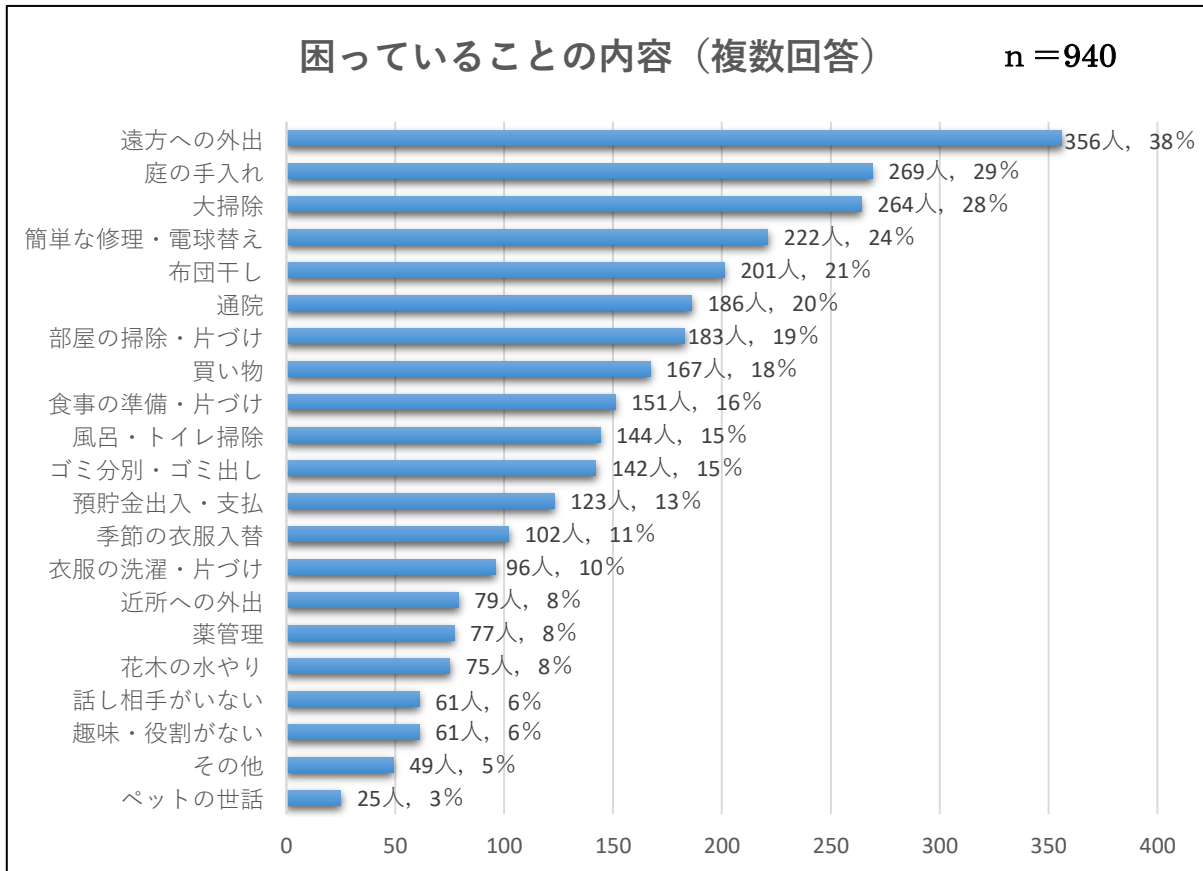
生活する動作等のなかで不安や困っていると感じていることについては、「ある」が26%に対し、「ない」は65%で、6割以上の方が自助または互助により生活できていることが伺える。

不安や困っていること

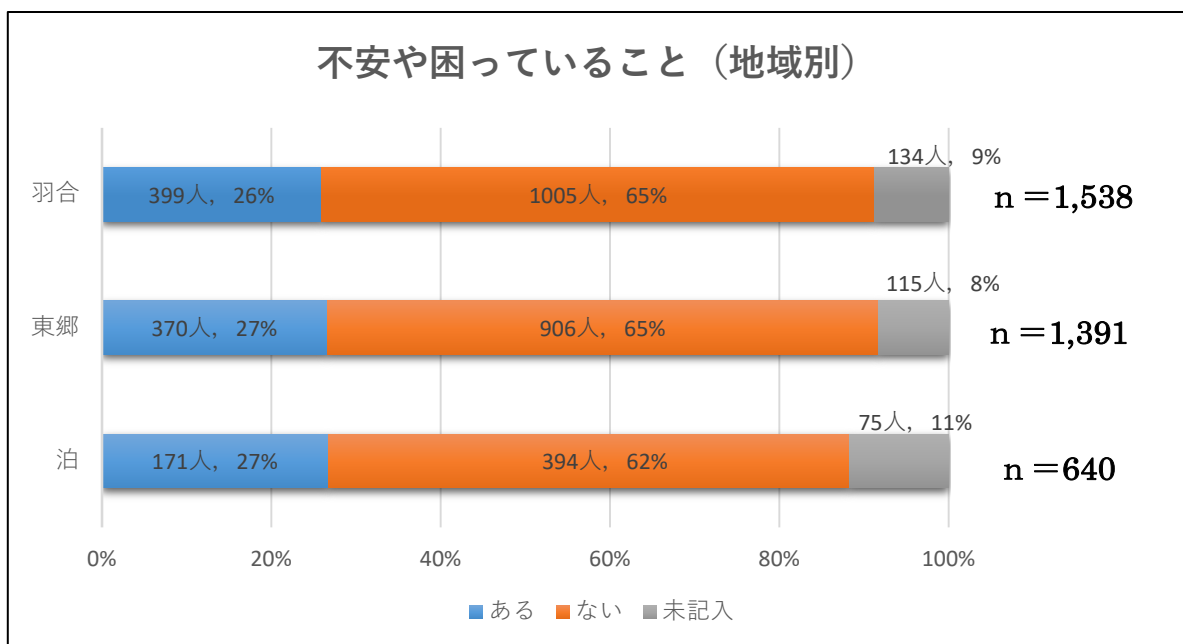
n = 3,569

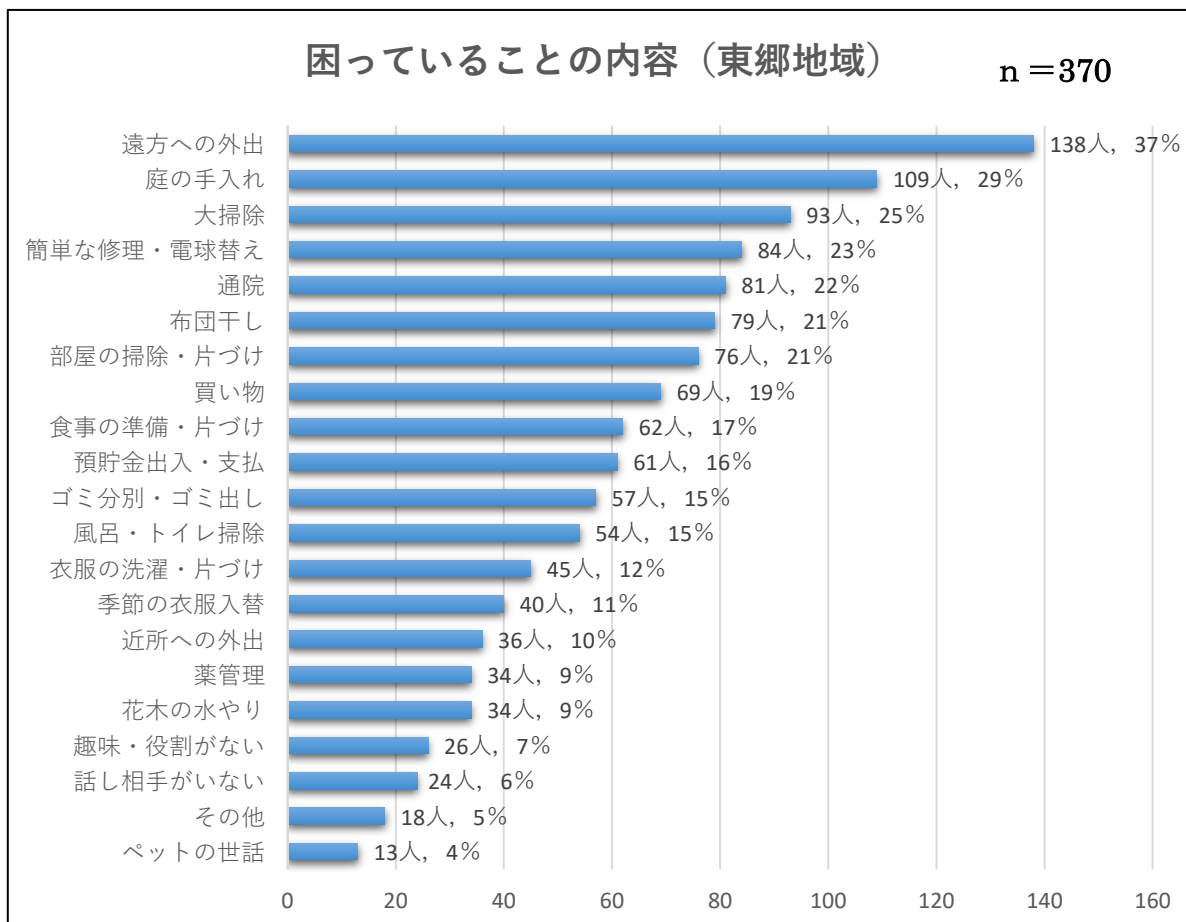
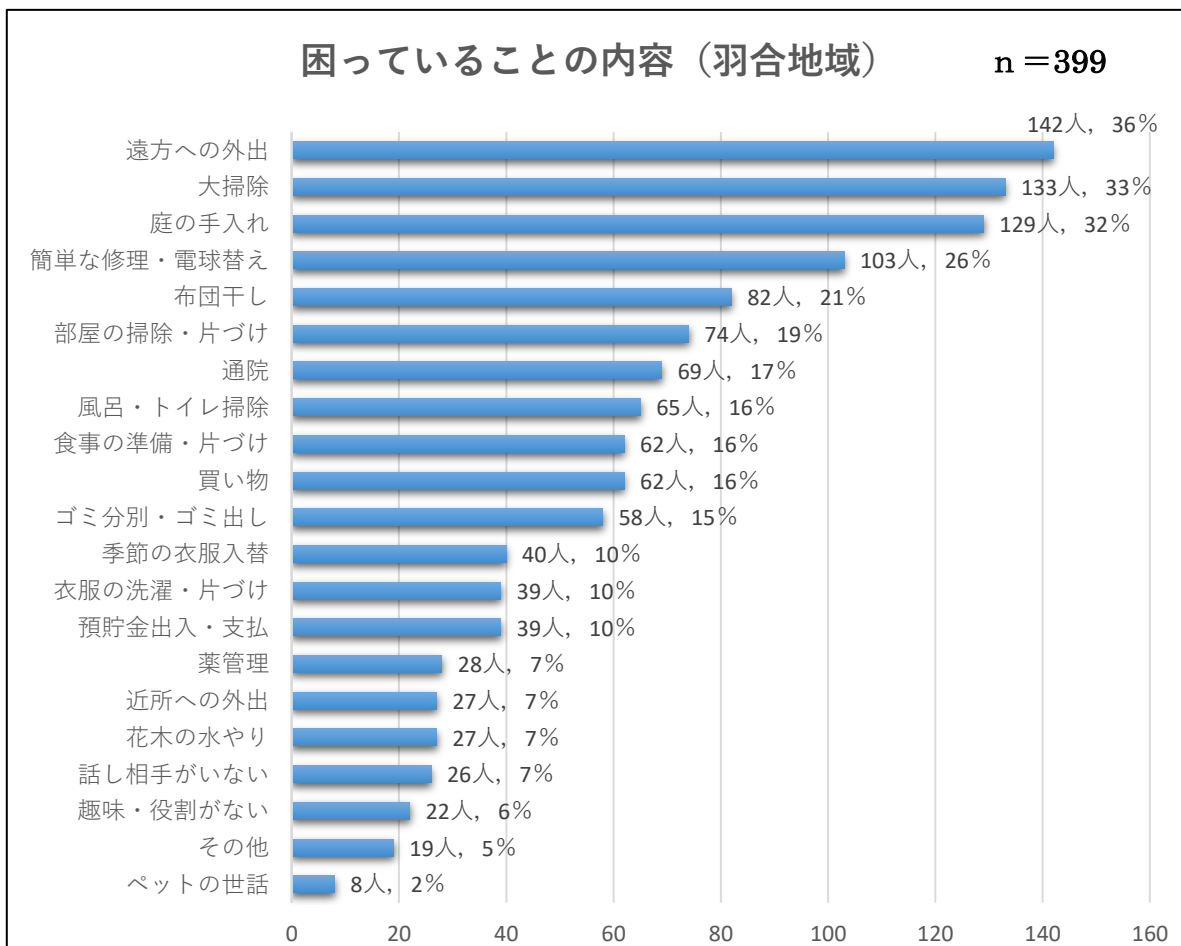


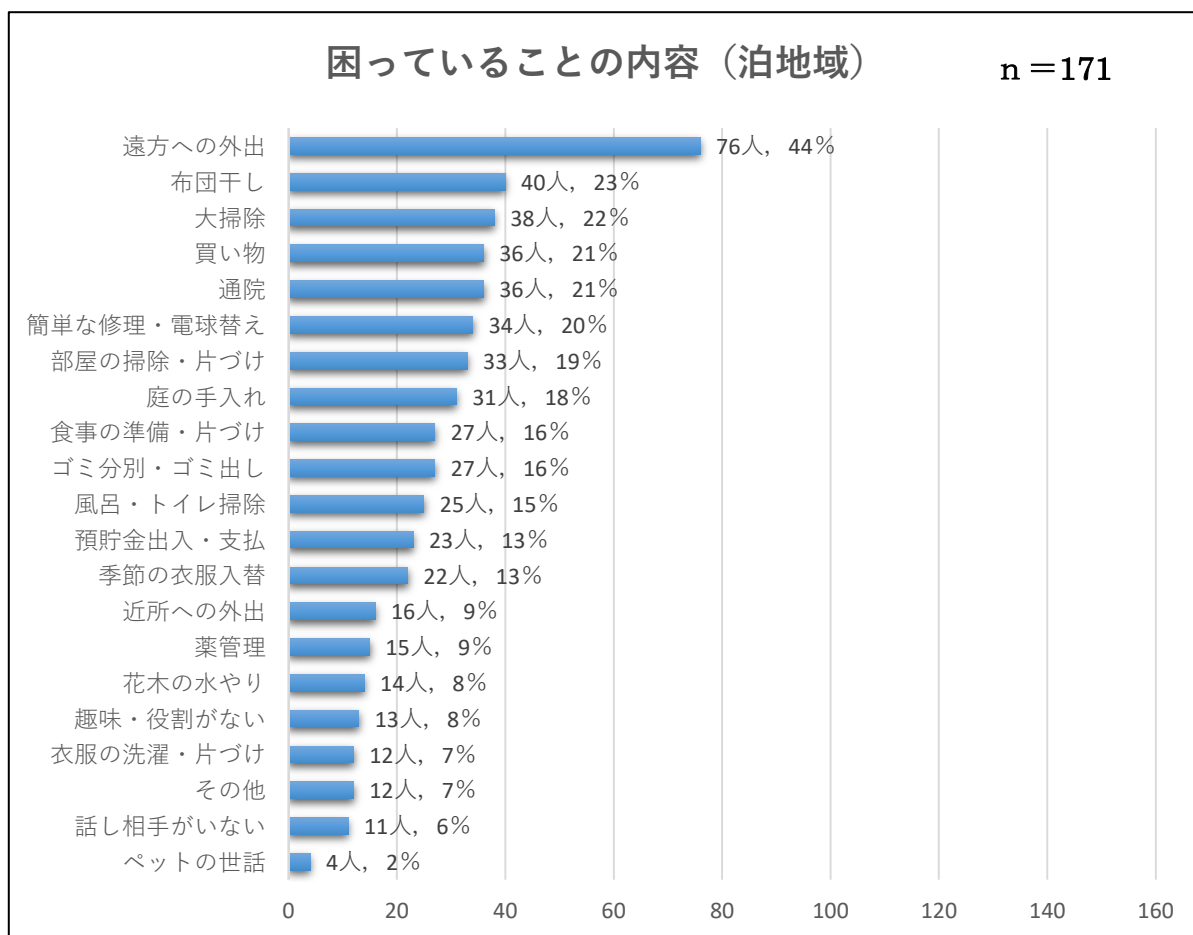
「ある」と回答した方がどんなことに困っているかについては、「遠方への外出」が突出して多く、交通手段の確保が困難である状況が伺える。また、「庭の手入れ」、「大掃除」、「布団干し」など体力が必要な動作が多く回答されていた。



地域別の状況は下記のとおり。

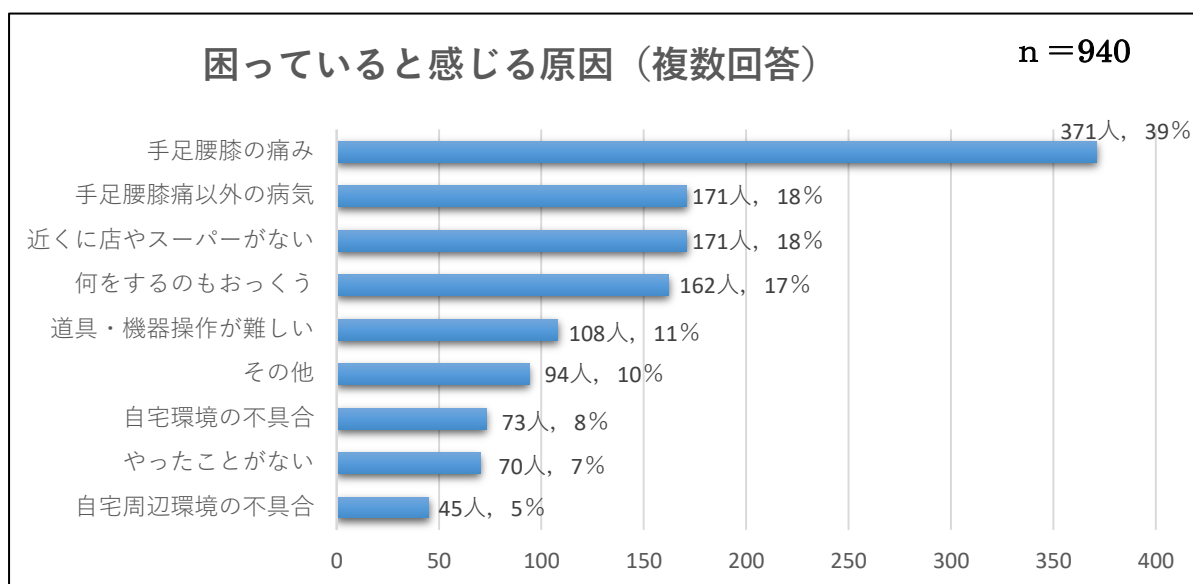




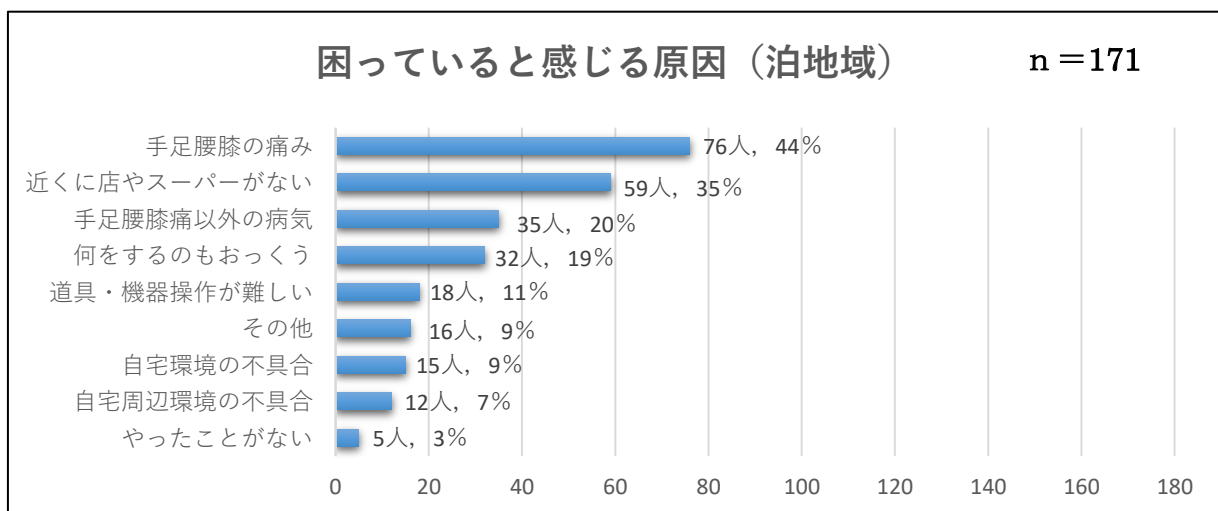
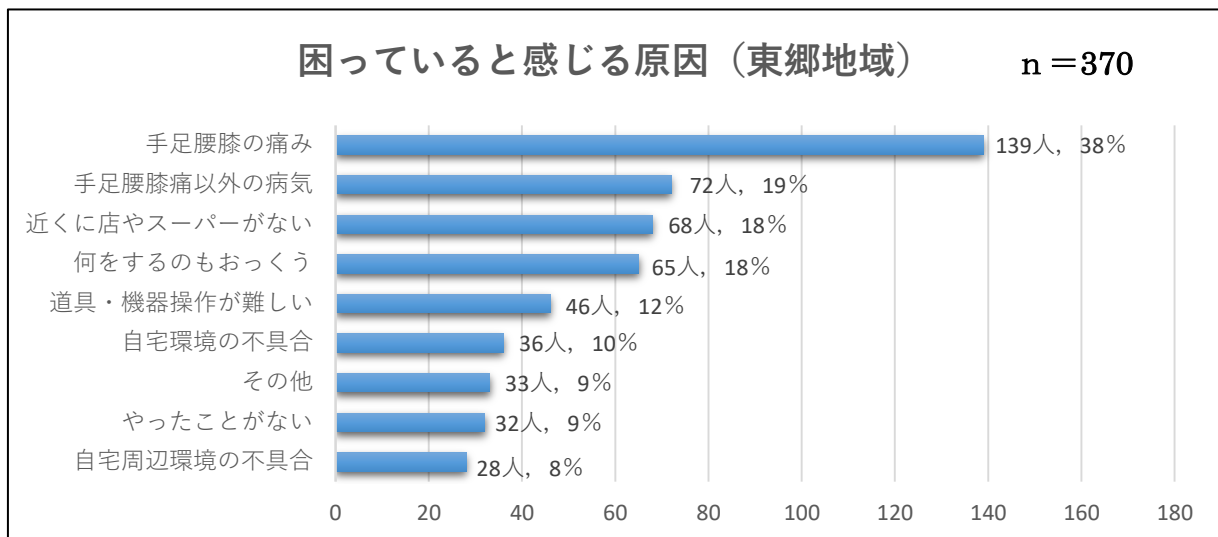
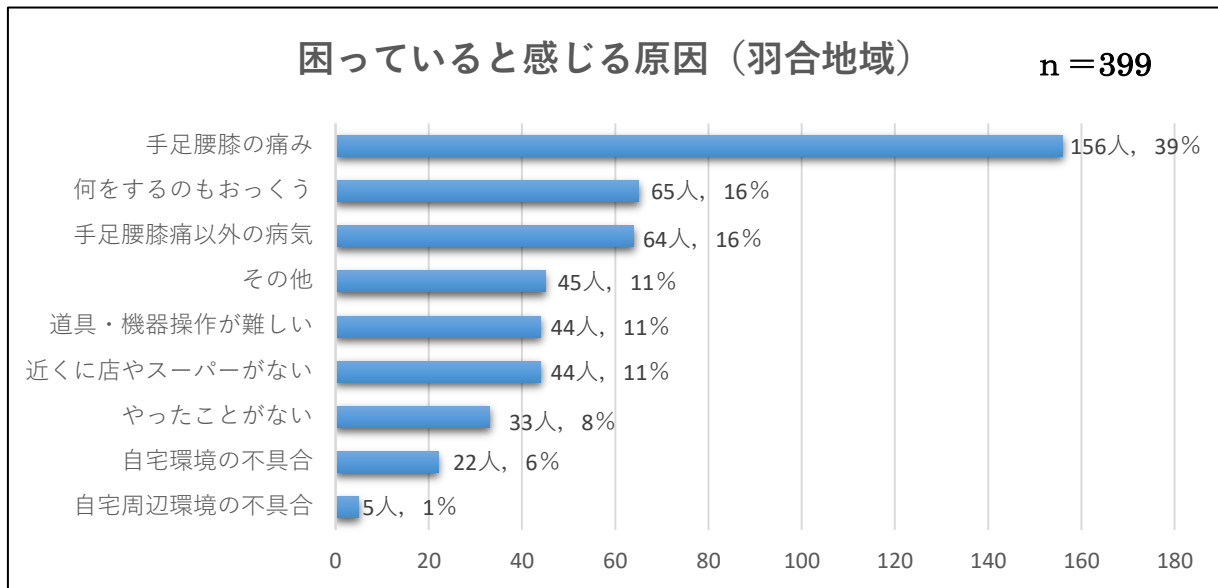


問3-1 問3で不安や困っていると感じる原因を教えてください。（いくつでも）

不安や困っていると感じる原因については、「手足腰膝の痛み」や「手足腰膝痛以外の病気」という身体の不具合によるものが多かった。

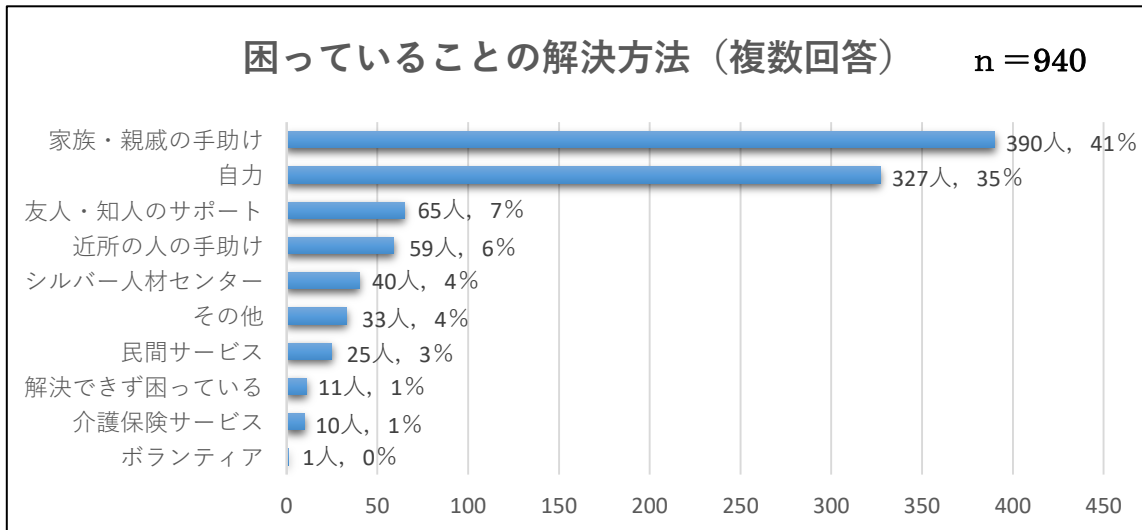


地域別の状況は下記のとおり。

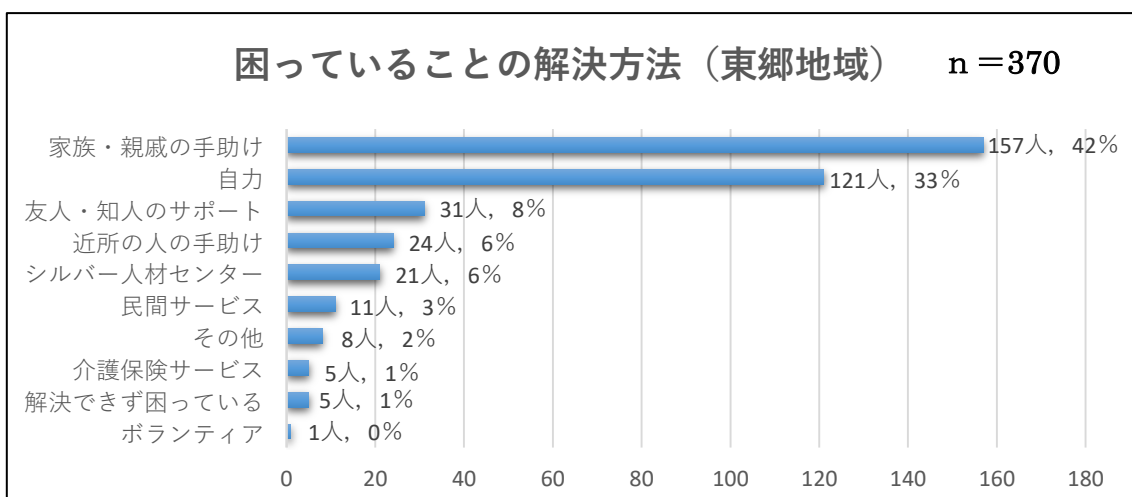
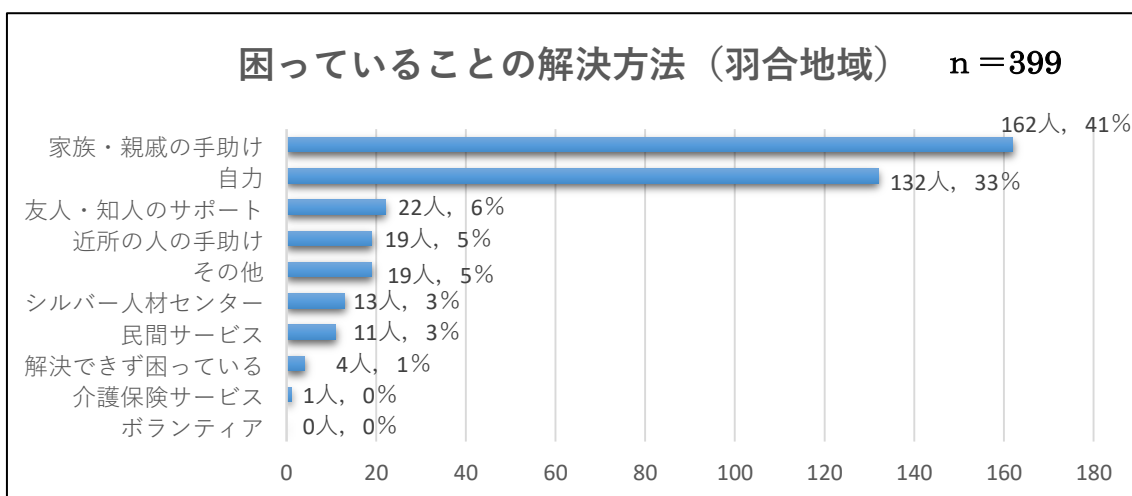


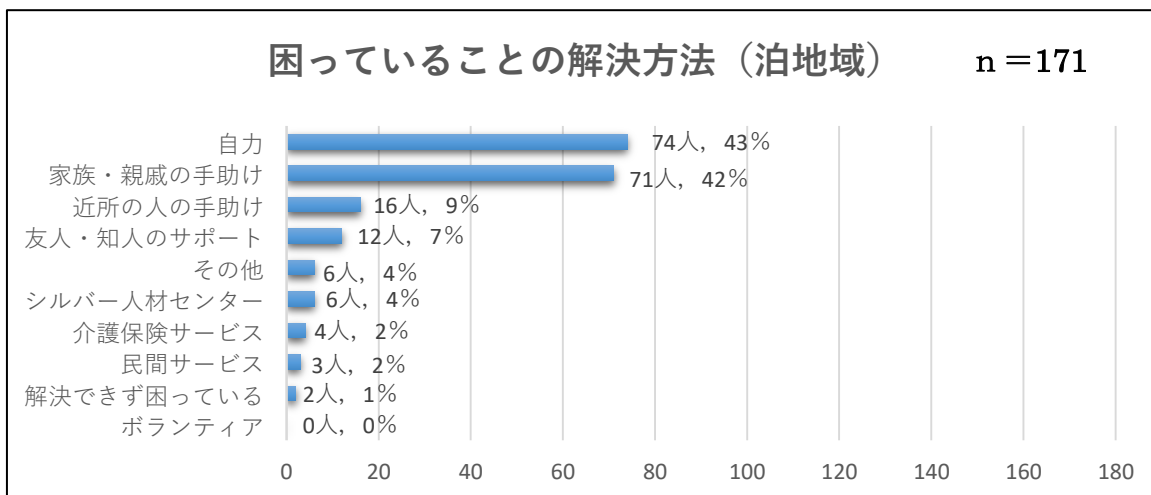
問3-2 問3で不安や困っていると感じることがあると答えられた方は、どのように解決されていますか。(いくつでも)

困っていることの解決方法については、「家族・親戚の手助け」、「自力」が突出して多く、「解決できずに困っている」の回答は11人とどまっております。大部分の方が不安や困っていることがあっても、自助や互助またはその他の方法により解決できている状況が伺える。



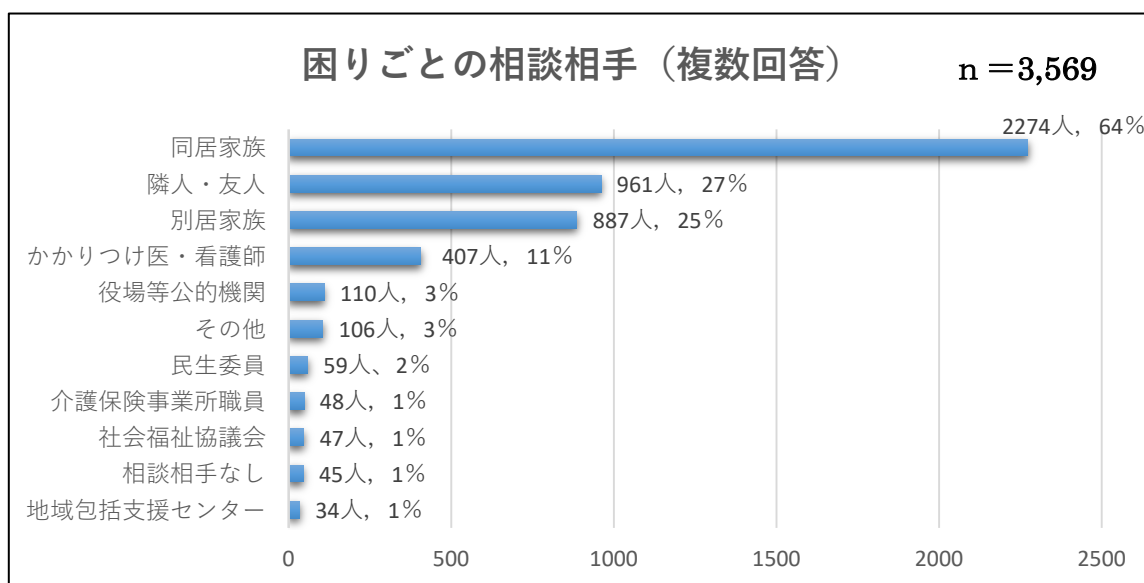
地域別の状況は下記のとおり。



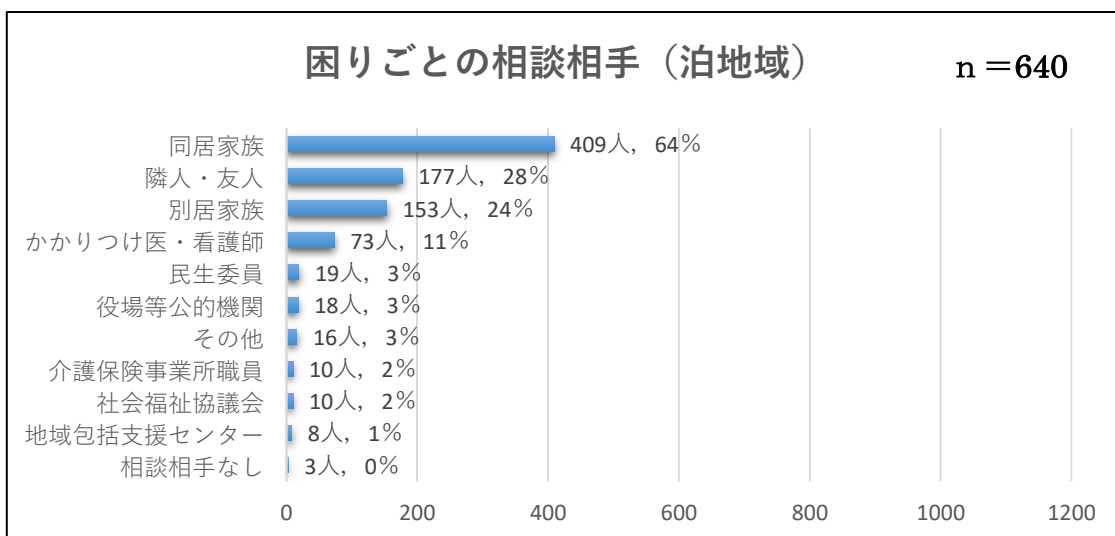
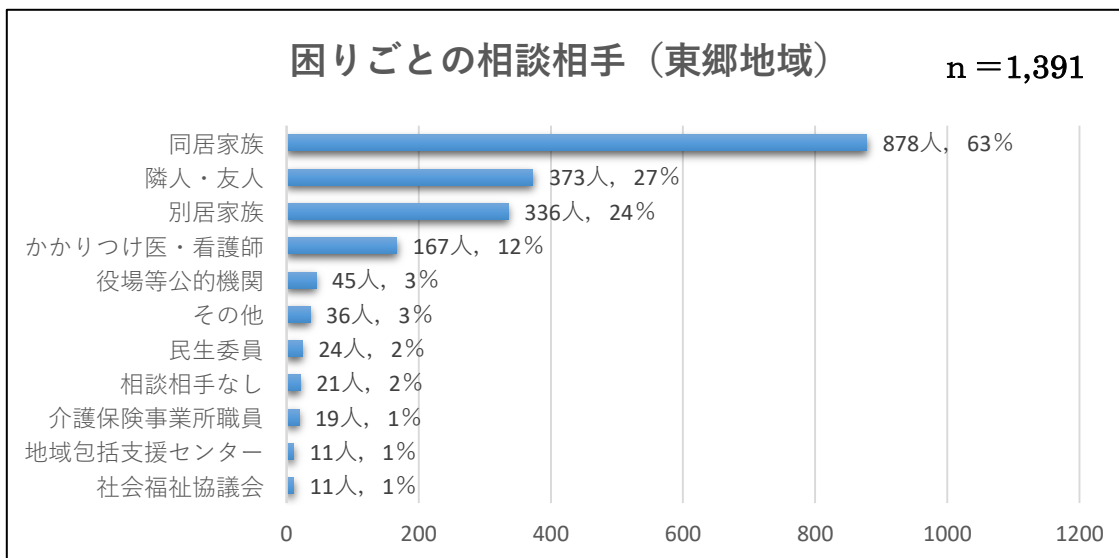
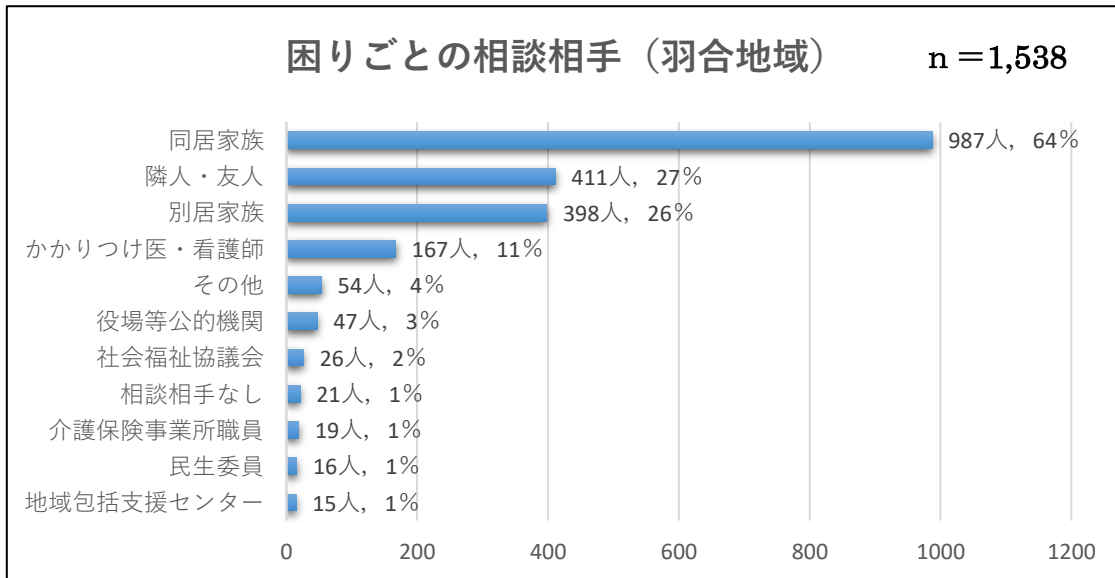


問4 あなたが生活するなかで、困りごとを相談する相手はどなたですか。（いくつでも）

困りごとを相談する相手については、「同居家族」が突出して多かった。また、「別居家族」よりも「隣人・友人」の回答が多く、ある程度互助の体制があるのではないかとと思われる。



地域別の状況は下記のとおり。

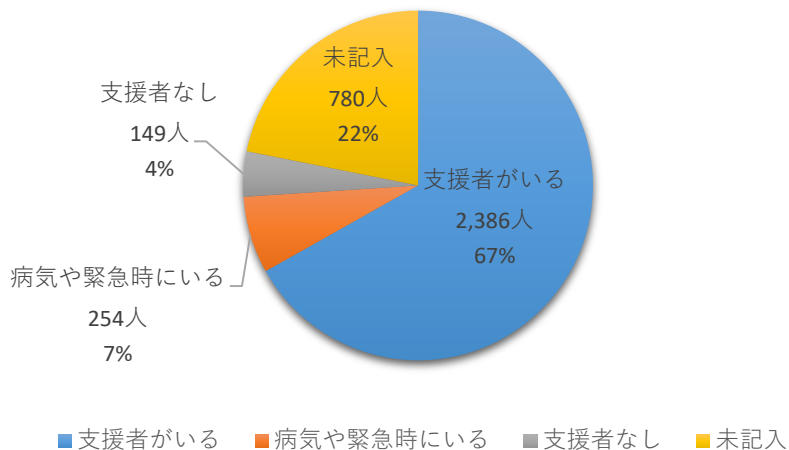


問5 日常生活の困りごとにおいて、支援してくれる人はいますか。(1つに〇)

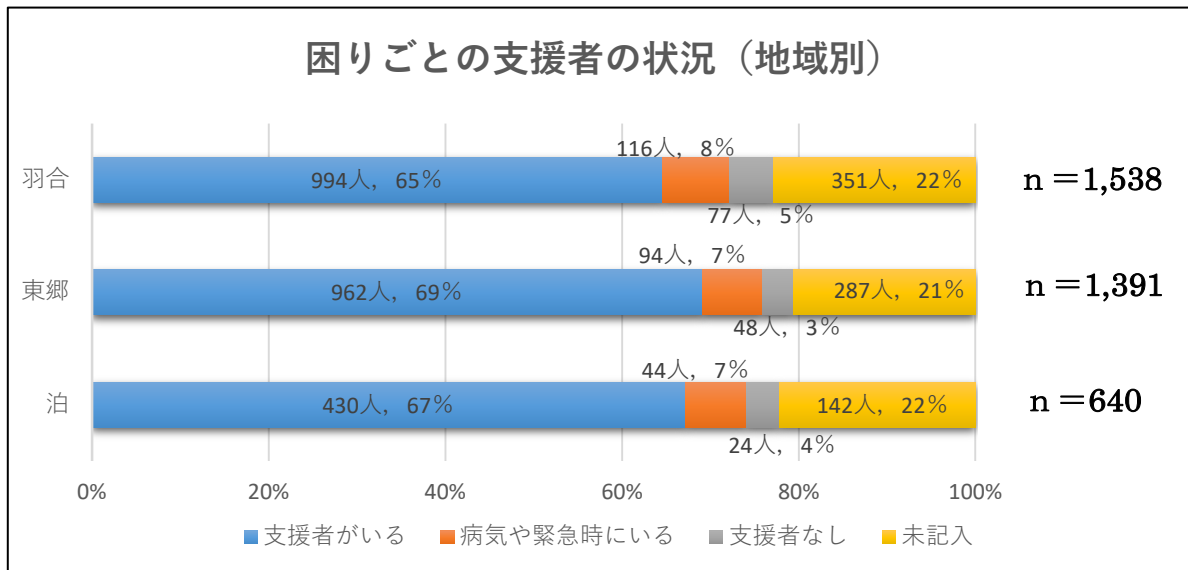
日常生活の困りごとにおいて支援してくれる人については、7割強の方が「支援者がいる」または「病気や緊急時にのみ支援をしてくれる人がある」と回答。「支援者がいない」と回答したのは4%であった。

困りごとの支援者の状況

n = 3,569



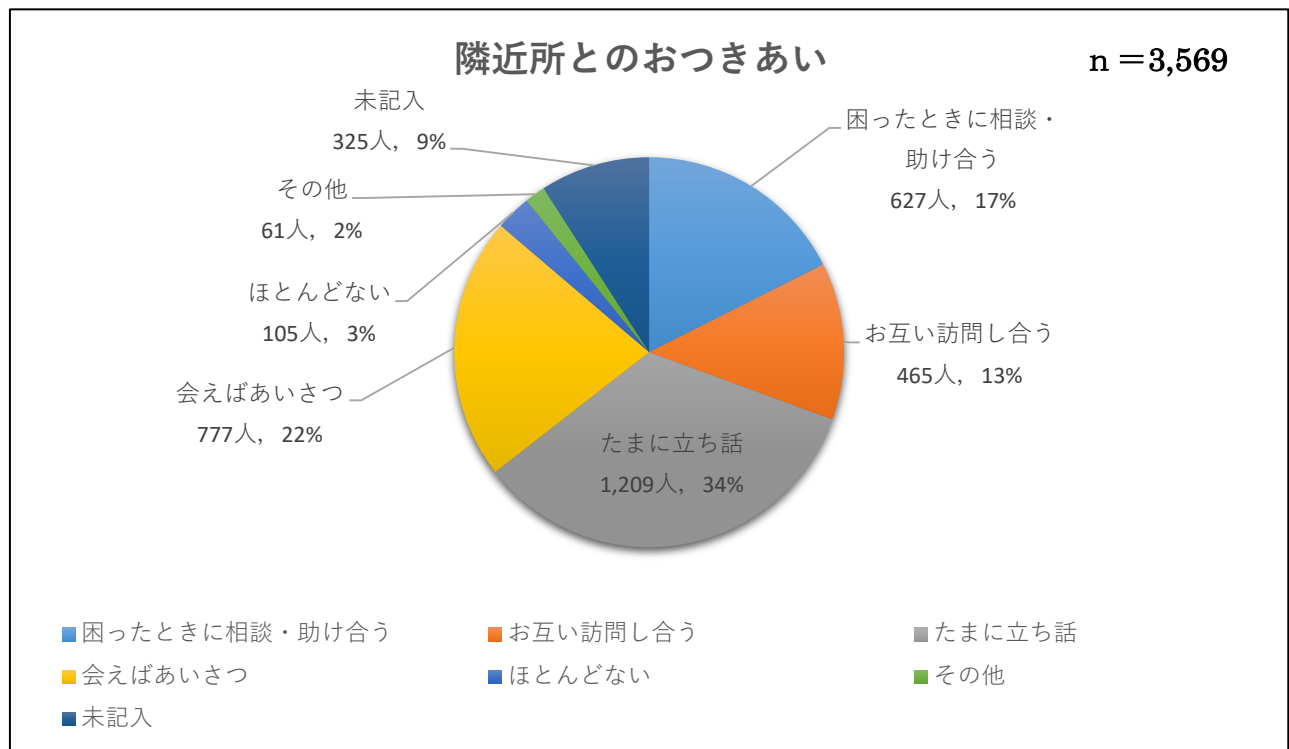
地域別の状況は下記のとおり。



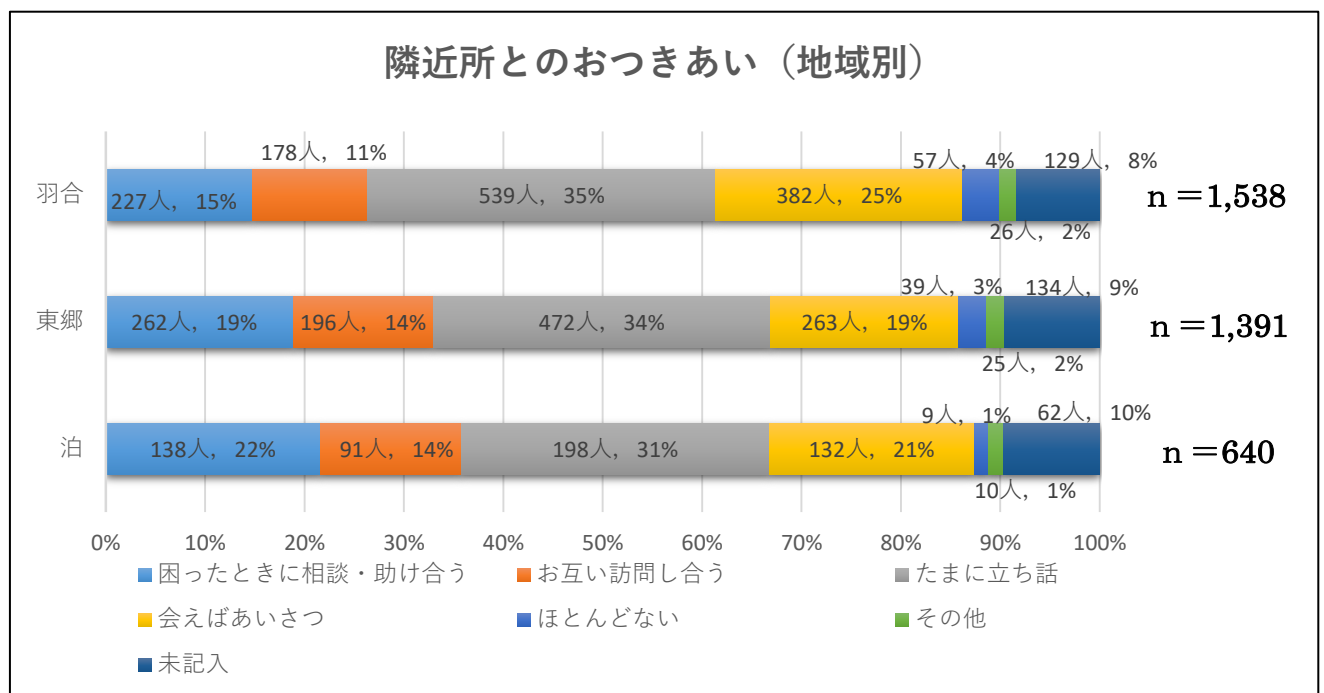
3 社会生活や地域活動について

問6 日頃、あなたは隣近所とどの程度のおつきあいをされていますか。最も近いもの1つに○をつけてください。

日頃の隣近所とのおつきあいについては、「たまに立ち話をする程度」、「会えばあいさつをする程度」、「困ったときに相談・助け合う関係」、「お互いに訪問しあう関係」の順に多く、合わせて86%となっている。対して「ほとんどつきあいが無い」の回答は3%にとどまり、ほとんどの人が地域の中で何らかのつきあいがある状況が伺える。

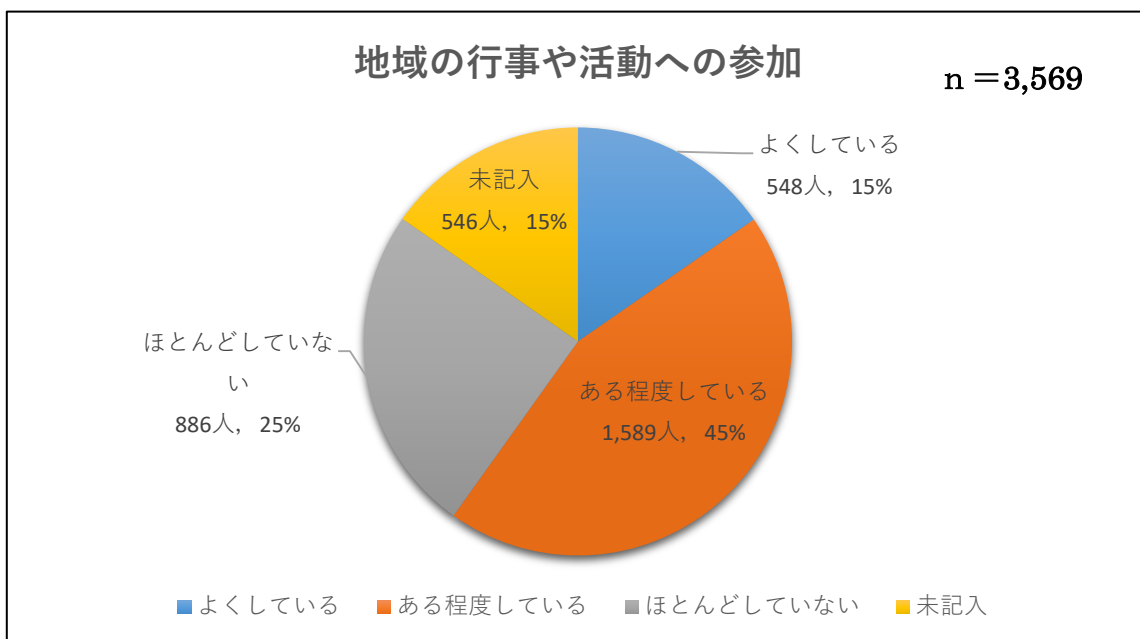


地域別の状況は下記のとおり。

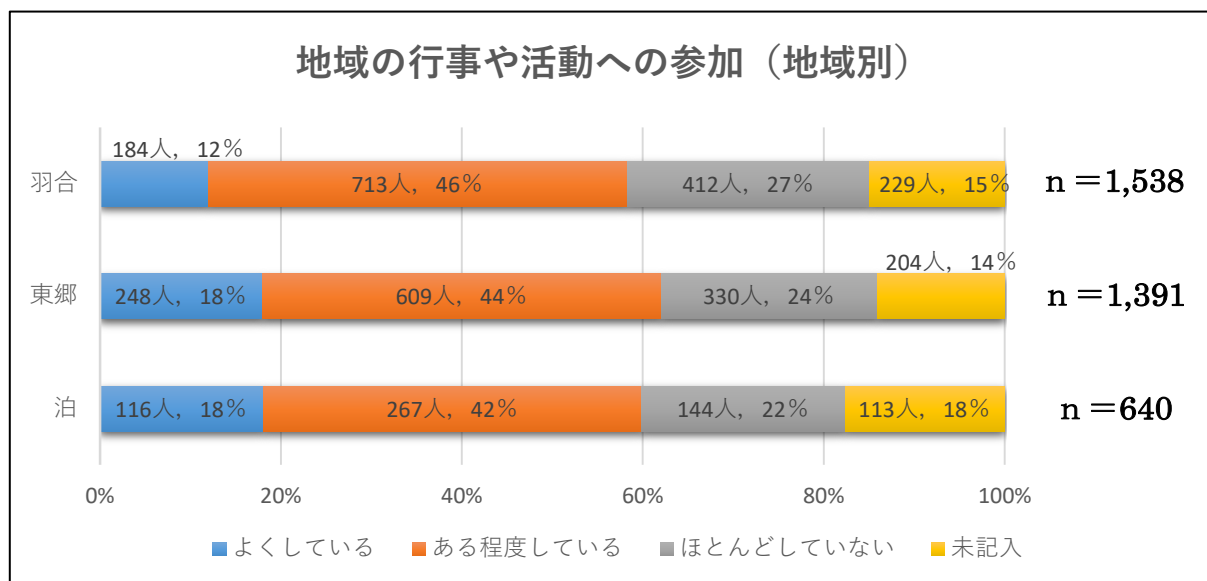


問7 地域の行事や活動などに参加していますか。(1つに〇)

地域の行事や活動などへの参加については「よくしている」、「ある程度している」が合わせて60%となっており、対して「ほとんどしていない」は25%だった。

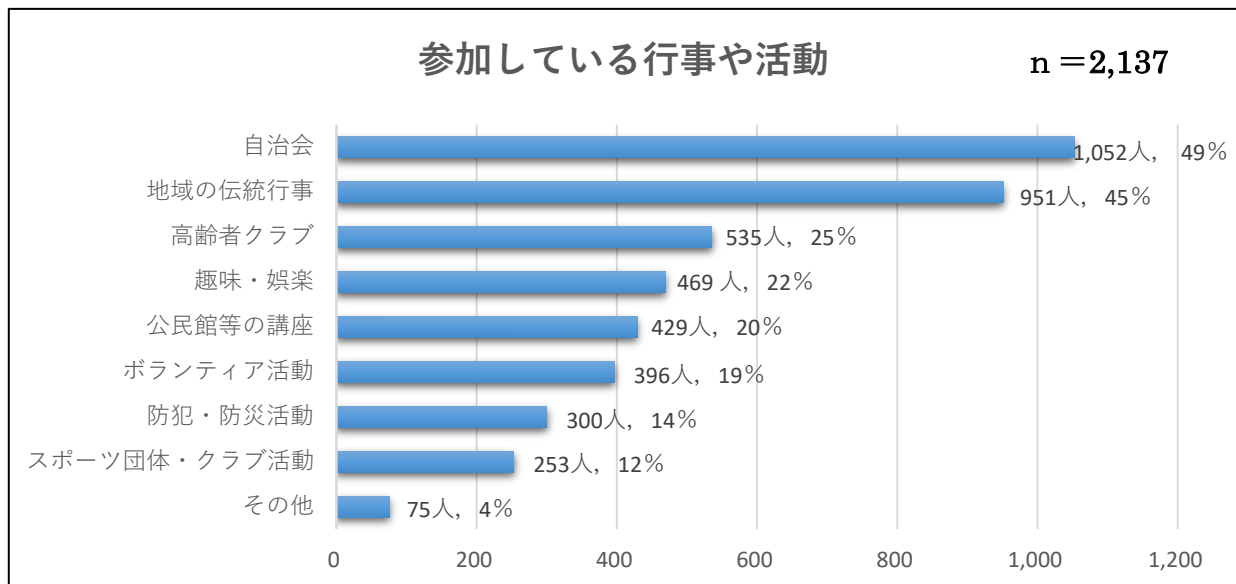


地域別の状況は下記のとおり。

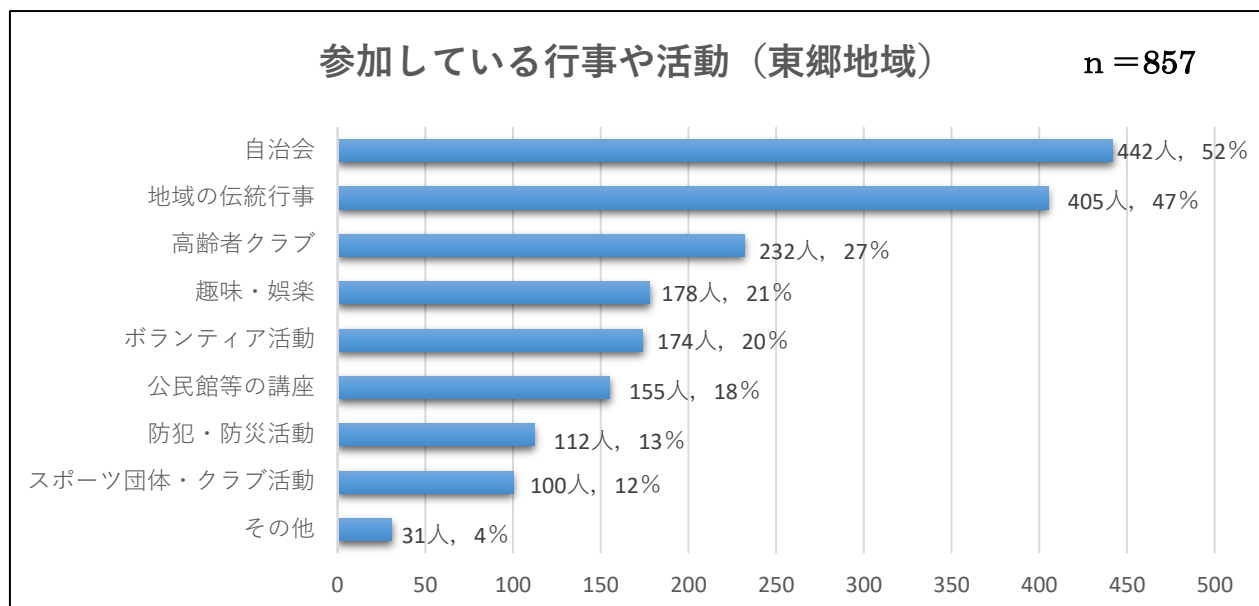
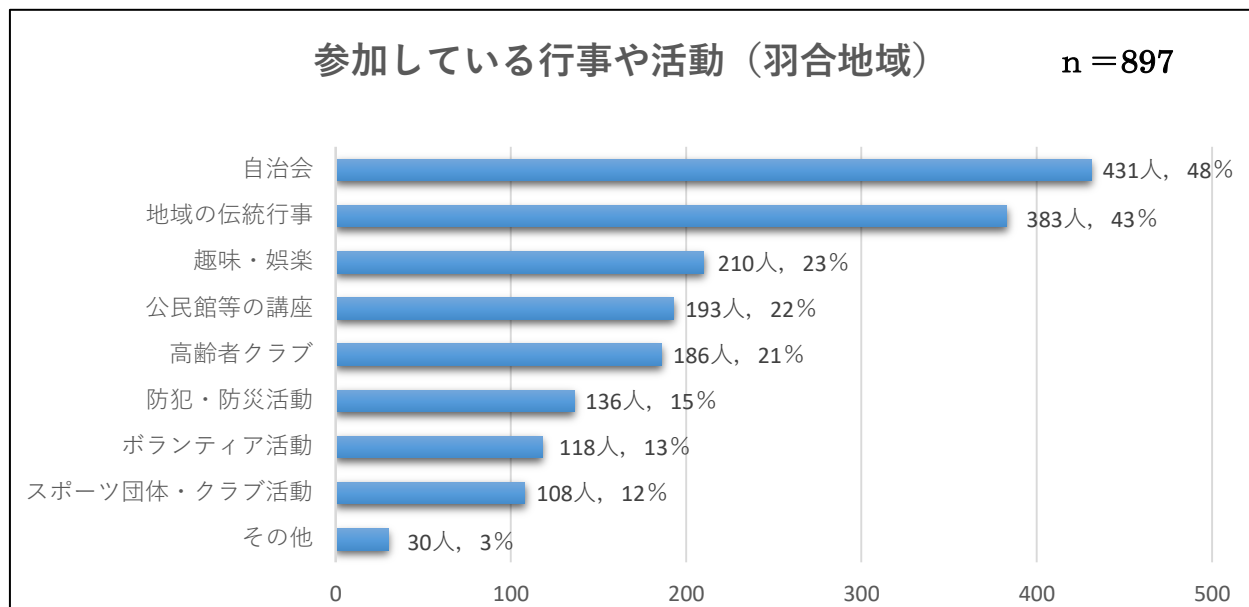


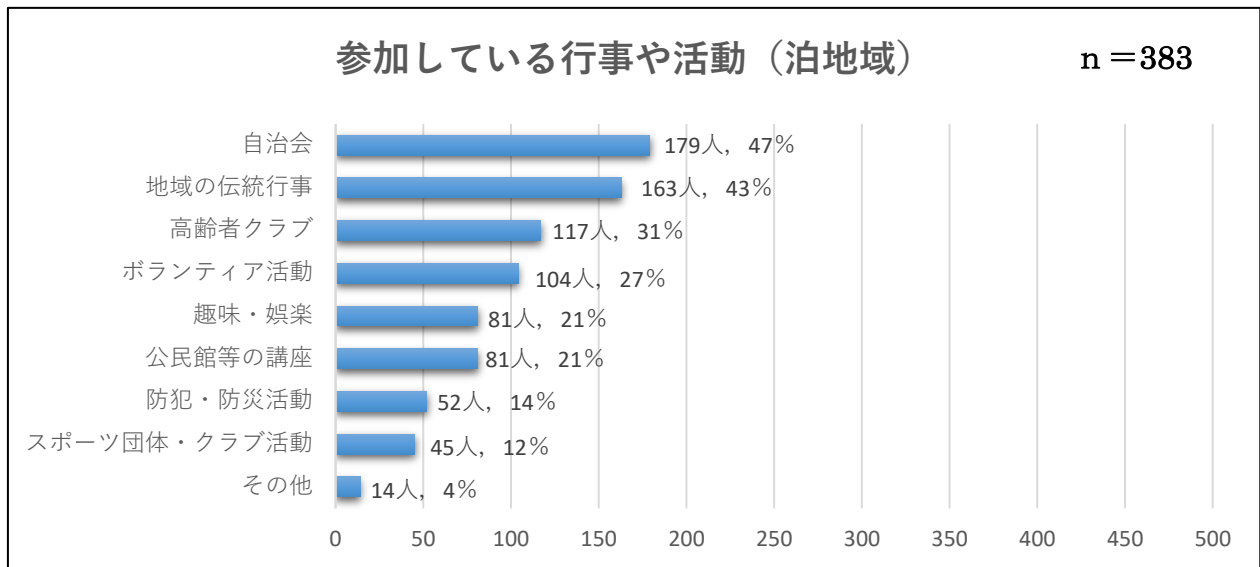
問7-1 どのような行事や活動に参加されていますか。(いくつでも)

参加している行事や活動については、「自治会」と「地域の伝統行事」の回答が突出して多かった。



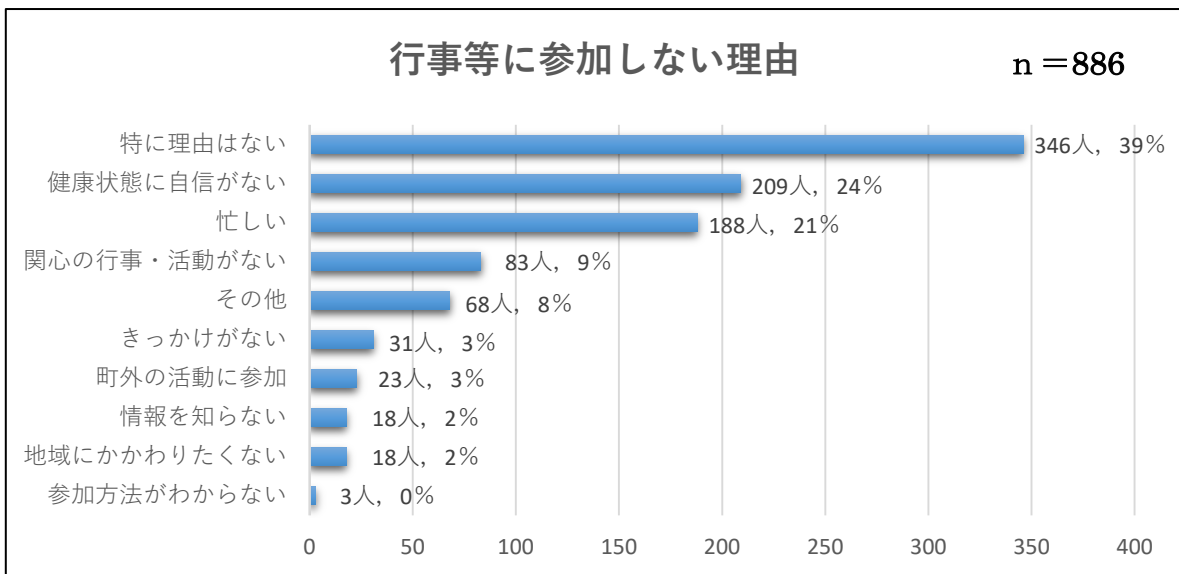
地域別の状況は下記のとおり。



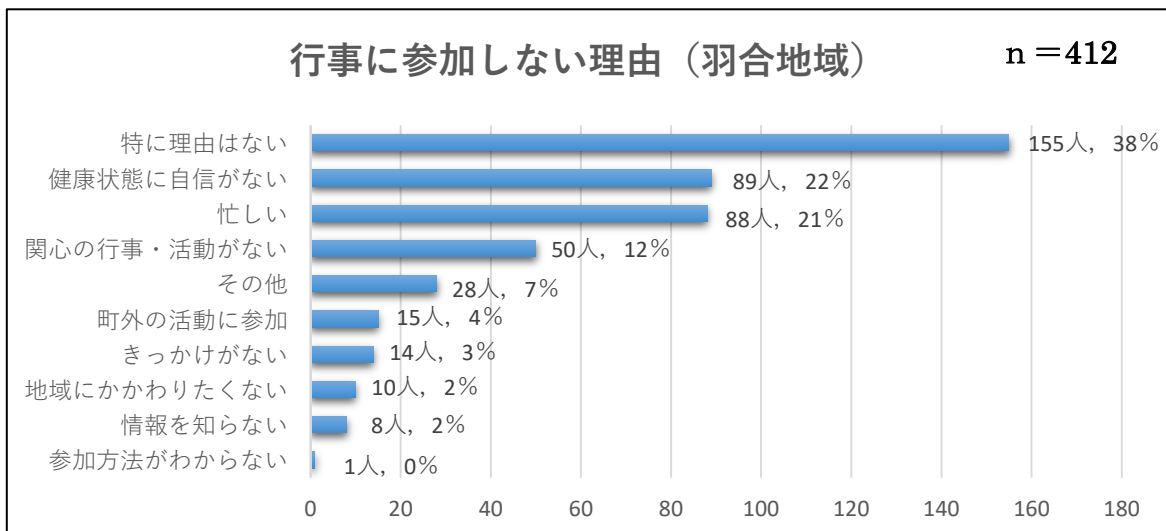


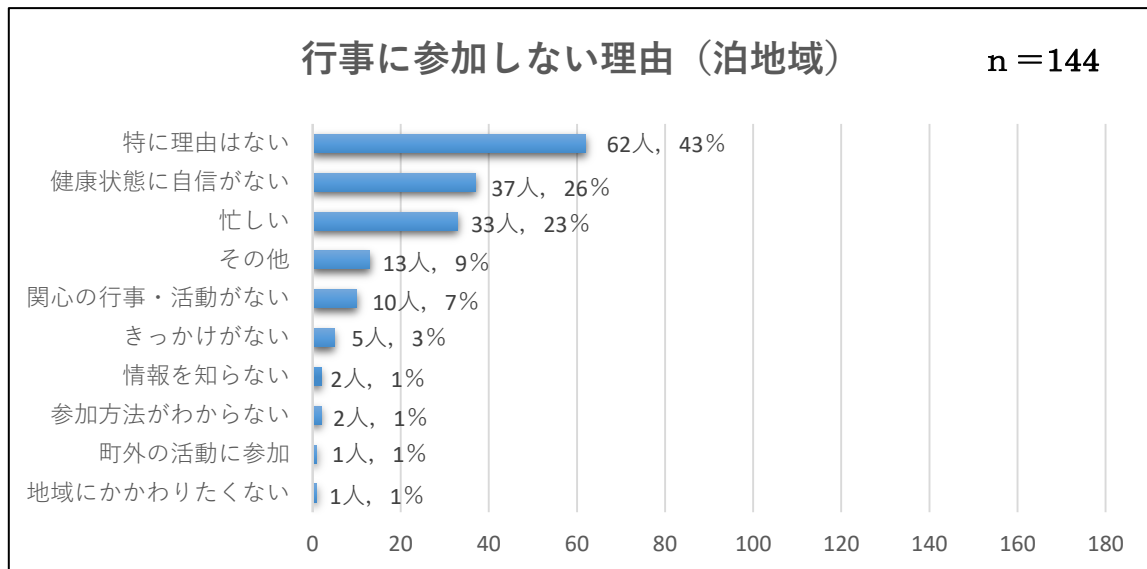
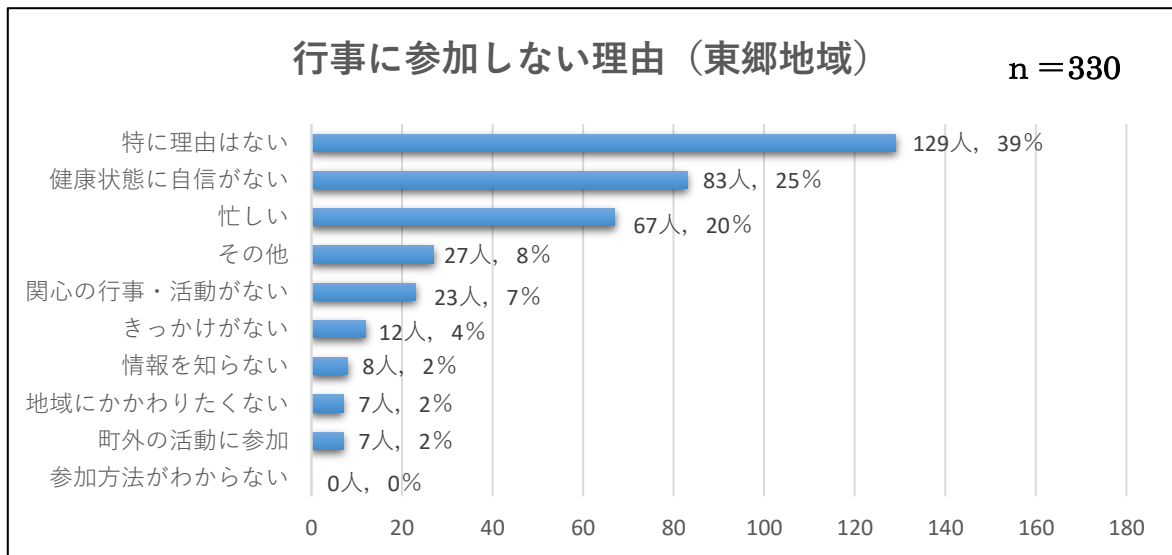
問7-2 参加していないのはどのような理由からですか。（いくつでも）

行事等に参加していない理由については、「特に理由はない」が最も多く、次いで「健康状態に自信がない」、「忙しい」が続いた。



地域別の状況は下記のとおり。

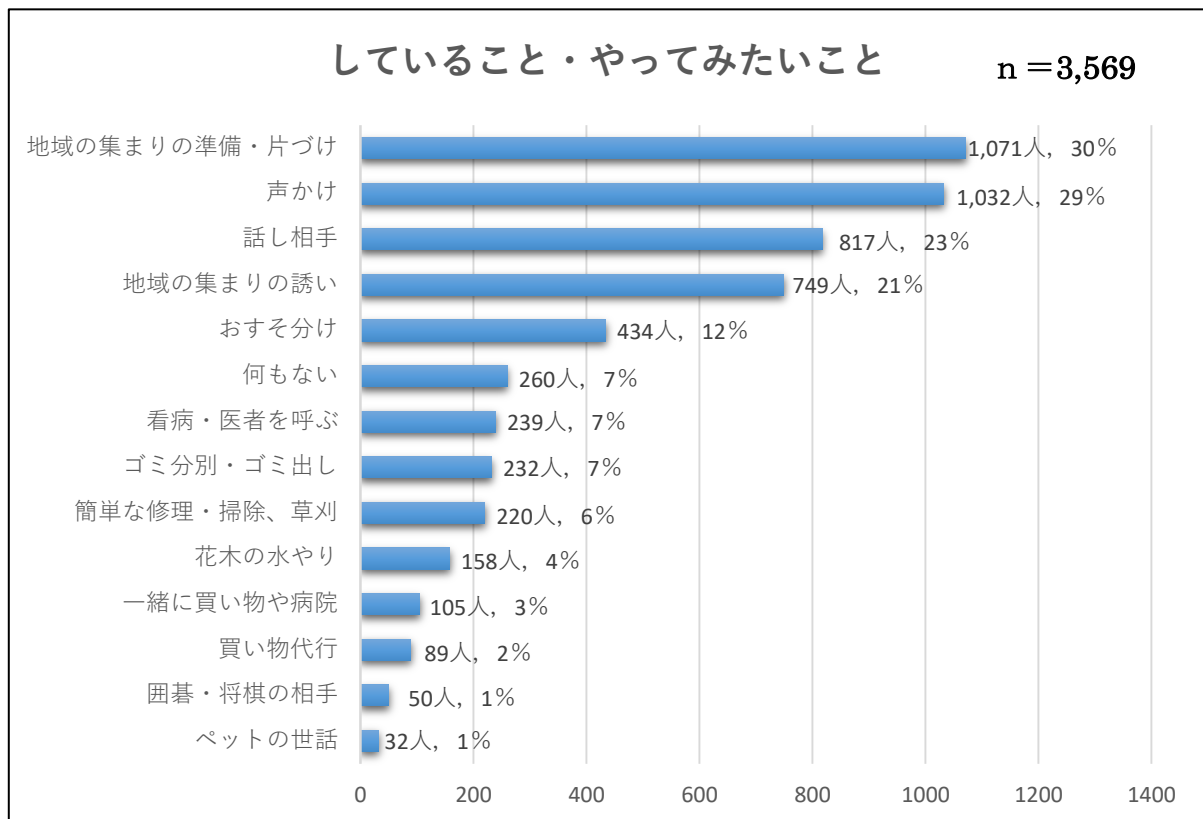




4 地域の助け合いや支えあいについて

問8 以下に、ご自分が近所の方に行っていること、やってみたいことはありますか。
(いくつでも)

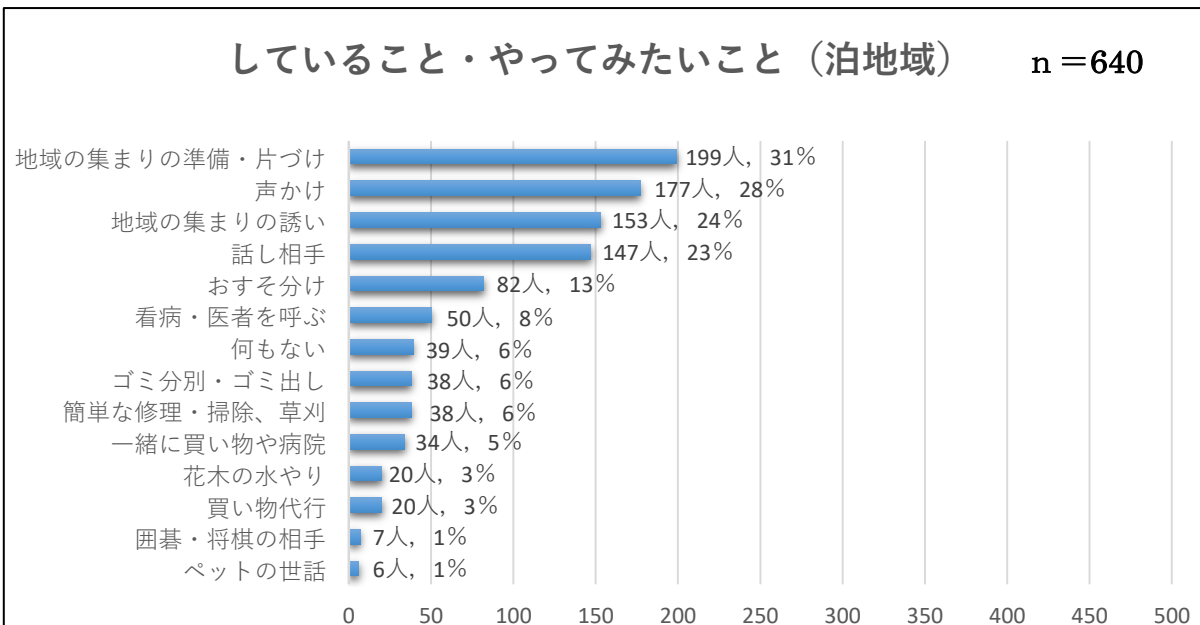
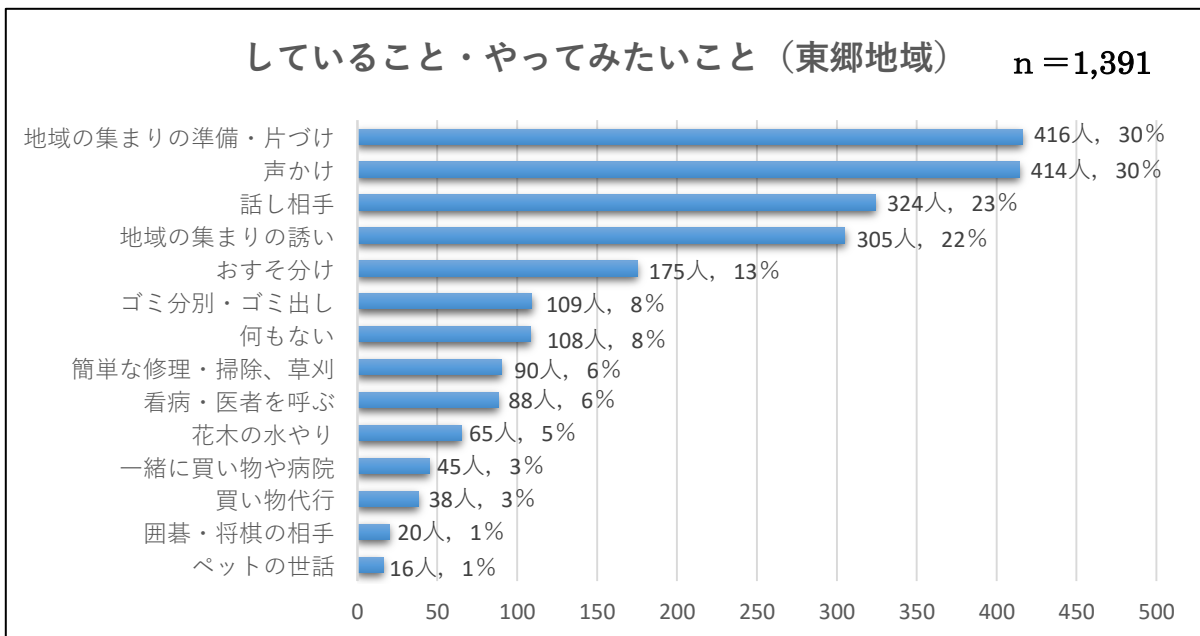
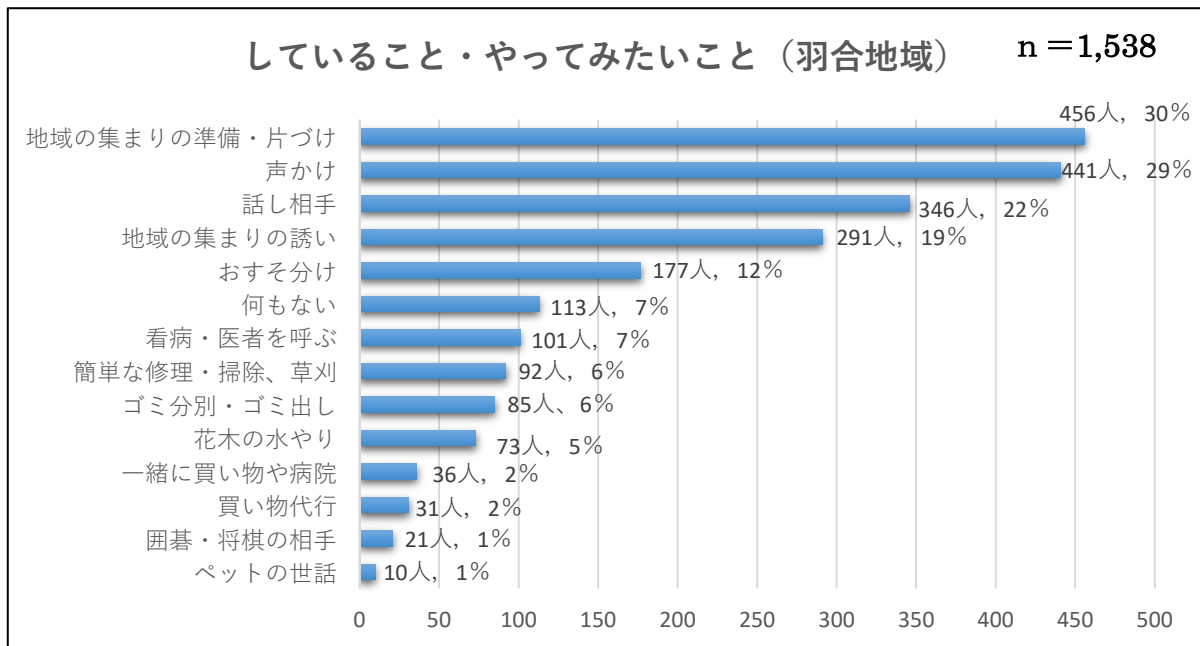
ご自分が近所の方に行っていること、やってみたいことについては、「地域の集まりの準備・片付け」と「声かけ」が多く、次いで「話し相手」、「地域の集まりの誘い」が多く、個人的な生活支援となるような回答は少なかった。



「ほかにできそうなことがあればご記入ください」に対する回答の主なものについては以下のとおり。特に「農産物や苗のおすそ分け」が多かった。

- ・農産物や苗のおすそ分け
- ・簡単な家電の点検、修理、照明の取替等
- ・玄関まわりの掃除、新聞等の取り入れ(留守時)
- ・ランドゴルフ、サロン、高齢者クラブに誘う
- ・相談があれば何でも
- ・除雪
- ・畑の草取り、畑作業
- ・布団の上げ下ろし、食事のあと片付け
- ・足の悪い人(つえをついている人)等の手助け

地域別の状況は下記のとおり。



問9 あなたがお住まいの地域で、問8のような「助け合いや支えあい」の仕組みや似たような取組があれば、どのような方がどのようなことをしているのか、その内容を教えてください。

「助け合いや支えあい」の仕組みや似たような取組については、以下のとおり多くの回答があった。一方で、抜粋していないが「特にない」、「知らない」、「分からない」との回答も多く、仕組みや取組みがあったとしても認知されていない可能性もあると感じられた。

また、回答のうち、「愛の輪協力員」、「いきいきサロン」、「保健福祉会」、「支えあいマップ」など湯梨浜町社会福祉協議会において推進されてきた活動が根付いていることが感じられた。

【記述内容から活動内容のみ抜粋】

① 助け合い

- ・災害時の見守り、声かけ、避難誘導
- ・災害時など独居老人などを誘導、声掛けをして避難させる手助け
- ・災害時各班長を中心に安全確認を取る。
- ・地震の時、心配して様子を見に来てくれた。
- ・川上で4つの隣組があつて、葬儀等の世話はその隣組ですることになっている。あとは、隣近所気がついたものが声掛けあつてやるしかない
- ・大雪などになると雪あけ(15cm以上)
- ・独居高齢者宅の除雪作業
- ・仕組や取り組みは決められた形としてはないがそれとなく、見守り助け合いがあると思う
- ・(簡単な)畑仕事
- ・民生委員の訪問など
- ・民生委員さんとの連携、松崎自主防災との連携
- ・病院に入院されると時々留守の家を見に行く
- ・大工の仕事
- ・1人住いの方の気かけ
- ・足腰の丈夫な人は準備や片づけを自主的にやる。足腰の不自由なひとにはイスや机の準備を行ってあげる。
- ・原達人クラブおやじの会を卒業した男性が地域の活動に無償でお手伝いをする。草刈やゴミ拾い高齢者宅の困り事の相談を受け、出来る作業を行なう。
- ・ボランティアグループ「達人クラブ」ではいろいろな取り組みを行なっている。通常は区から依頼のあつた作業が多いが、個人からの依頼、例えば「草刈り」、「トタンの張り替え」など、メンバー25人(男性)はいろいろな職業経験があり問8の一部の作業が可能。
- ・達人クラブ
- ・自分の畑で収穫した野菜を自発的に希望する方に差し上げている個人の方がおられます。(部落放送を利用してご自由にお持ち帰り方式)
- ・近所の声掛け
- ・現在、長年の関係が成り立ち助け合い、支え合っている
- ・男性の独居の方に対して気をつかっている
- ・何でも手伝える事は手伝う
- ・区役、おやじの会、各団体の役員
- ・自分で歩いて買い物に行き、近所で若い奥さんが気をつかって、いる物があつたら買ってきてあげるといって声をかけて下さるので、1人居りの老人は本当に嬉しいです。私は何時も感謝しているのです。

- ・あまった野菜などをあげる
- ・元民生委員だった方から、野菜など届けて下さったり、たまに声をかけて下さる。近所では助け合ったり支え合ったりすることあまりない。淋しいです。一人暮らしがどんなものか少しはわかかって欲しいとも思います。私はなるべく声かけやおすそ分けなどするように心がけてはいますが…
- ・老人買い物バス 時々参加
- ・大雪時の道路の除雪
- ・趣味のサークル活動仲間での助け合い、さそいあい
- ・買い物に車に乗せて一緒に出掛ける。

② 地域活動・交流・行事

- ・自治会青年部の収穫祭、運動会、盆踊り、多面組織、農道の草刈り、花植え
- ・春と秋に日帰り旅行をやっています。
- ・伍組の活動…懇親、共同作業等
- ・東部区では年4回見守り会議を行っている。
- ・見守り活動
- ・あったかハート事業に取り組んでいます。
- ・役員の番が回ってくると、一軒一軒まわるので、その時を大切に、対話を大切にする。
- ・長く居住されている方が多いので、家に居る時は結構あいさつをかわすことがあり、とても皆さんと顔見知りなので気がねなく話をしています。
- ・班での清掃活動の時等隣近場、誘い合って出席します
- ・地域をきれいに、バス停清掃、花いっぱい運動、あいさつ運動
- ・決められた日の部落での溝掃除と草刈
- ・自分自身がしていることですが犬の散歩中にルックチルドレンのベストを着用して見守り隊の活動をさせてもらっています
- ・大師堂で毎月1回おまつりをしている。保全会、福社会の方々の奉仕作業。
- ・独居老人の見守り(担当者は民生委員さんが近所の方に頼まれる)
- ・全戸参加の夏祭り
- ・自分で助け合えるような事が有ればやりたいと思っていますが、やって頂く方が多いのでちょっと心苦しいです。自分に出来ることを行っています。宴会の後片付とか。皆さん仕組みにこだわらず自発的に世話おこなって下さいます。
- ・集会等行事などで顔が見えない時は連絡を必ずとる
- ・寺を中心に話し合いやスポーツ交流、研修会など行い役割活動をしながらおたがいに助け合いや交流を深めている
- ・孫の行事の参加
- ・ゴミだし、盆踊り等若い人の中に入って楽しむ、友だちとあちこち行くの楽しい
- ・高齢者クラブ、農業関係、神社、寺関係
- ・同じ班で隣近所の人が声掛けをして下さる。会合など一緒に行く
- ・私が老人会会長をやっている。今年は組長も順番で当たり、配布物、集金等あり大変忙しい。
- ・地区の公民館活動で毎年ある老若男女子供に至るまでの交流、泊2区では第30回の公民館まつりを行って来ました、小さな子供達もとても楽しそうにはしゃいでいます。その日は区民一丸となって助け合い支え合って成功させてきました。その他防災訓練等、各行事もすべて組当番で責任を持って実行していて、とても良い事だと常々思っています。否が応でも当番に当たった時は組全員で参加して準備から片づけまで区民全員が関わるので老人でも参加しております。
- ・催し物などの案内紙など今年は当番で10件の家にくばったり集金もしたりしています

- ・子供達でも友人、大人でもあいさつは自分の方から進んでする。
- ・自治会での意見交換
- ・天気の良い日に所々で高齢女性の人達が数人集まりいろいろと世間話しをしながら、地区内の情報交換の様な事をしている姿を見る
- ・自治活動
- ・防災訓練に参加
- ・自主防災の取り組み
- ・草取り
- ・(有志の会主催の)地域活動に全く参加しない家庭、個人が1/3程度あり、困っている。
- ・カフェ梅屋の集まりの時出席されてない方の安否確認
- ・老人の集まりに声をかけてもらう事がある
- ・7月に観音様のお祭りで(公民館行事)
- ・今の所、なにして人の為になる事はできませんが、天気のいい時に畑に出れば通りすがりの人との話しやいろいろと花をつくってみて写真にとって持って来て下さり楽しい話をしています。
- ・高齢者クラブ
- ・農業、家事を主にやっている(家族の助けになればと)、近所の人など色々な時で声掛けしていますが、なかなか時間に余裕がない。
- ・老人ホームの慰問、小学生にお話し、いろいろしておられる。他にもフラダンス、ステンシル、洋裁等家で教えて下さる。
- ・場合によってはいろいろやっている。
- ・友人が複数いるので、その方達には出来ますが他の部落の方達には、そこまで入っていきません。
- ・春秋の総事、清掃作業、区町運動会への参加

③ 支え合いマップ

- ・支え愛防災マップを作って情報を共有している。
- ・近隣での高齢者等防災マップに記入、介助、救助等助けあう
- ・ささえあいマップ作成、配布
- ・毎年6月にささえ愛マップの更新を行っている

④ サロン

- ・月1回のいきいきサロン
- ・月2回のいきいきサロンで体力作り。
- ・いきいきサロンで近所の方の様子を知る
- ・お寺の法座がある時、車の運転可能の人が制限人数の範囲で同乗させて下さる。
- ・隣の家(年寄りの一人住まい)では、朝7時頃2~3名の知り合いの方が集まって短時間だけど、いどばた会議のような話をされています。(毎日のように)
- ・地区のクラブメンバーから参加をさそわれる
- ・ほのぼの会、老人の方と一緒に食事をし歌など歌う。食事を作るようでお手伝いをしている。
- ・地域の福祉委員会等が「ふれ合いサロン」等と呼ばれてくださり、食事、体操、講演、おしゃべり等で楽しむ。長寿会(65才以上)という組織があり、それに加入して年に何回か集まりがあつて草取り、食事会、運動、おしゃべり等を楽しむ。
- ・1ヶ月1回集まり家庭クラブ集会所で料理をしたり、あみもの針仕事話いろいろしてます
- ・午前中毎日お茶会をしています。話し合いです。(いろいろ)と毎日の生活のことなどかな?
- ・上浅津福祉委員会の方達が年に数回サロンをしている
- ・地区内の老人会も高齢になり本部にはなかなか出る人もいなくなり手を切つて地区で毎月

- 一回より話をしお茶をのむことに4月からになり楽に集まる様にきまりほっとしています
- ・週1回8人〜7人集まって軽体操をしています。自分の悩みをうちあけたり世間話をして(悪口は言わない)、その後トランプをして遊び、大笑いをします。
- ・年老いて一人暮らしになって地区の公民館や福祉会等で声かけて頂き、久し振りに村の方々と(特に離れている家)世間話等させていただき有り難いです。今はお世話になることばかりですが、自分ができる時がよかったですね。
- ・お寺さん
- ・毎月2回約1時間「ゆりりんサロン」を開催していて、健康体操や脳トレ等を実施している。(参加者は10〜15人)
- ・地域公民館役員主体で、公民館活動の広報地域新聞と年間8〜10回程度発行している。元教員の方が主体になっている。
- ・月2回程度、公民館で茶話会を開催している。
- ・福祉推進委員の方が中心となって実施されている地区の”いきいきサロン”事業
- ・いきいきサロン、世話人、福祉推進委員の方、お茶会、合唱、読み聞かせ等
- ・皆さんと同じように、いす、テーブルの片づけ
- ・認知症予防の一つとして、少人数ですがサロンを月1回開いて世間話をしたり折り紙等をして楽しんでいきます(女性のみ)
- ・龍徳寺で一月に一度講演会や旅行、食事会でお年寄りのいこいの場所になっている
- ・老人クラブサロン(寿会)、大師堂(高齢者によるご詠歌の会)
- ・福祉会いきいきサロン 梅屋
- ・サロン笑夢・自主的にグループを結成し認知症予防の活動を展開(区等の強制なし)している。あくまでボランティアで活動は素晴らしい。
- ・シニア世代の集まりが月初めに1回(忙しい時期をはねて)福祉推進員さんが一緒に(1人暮らしの方対象)集まって(軽い体操、お茶会、世間話他)ミニカフェのような事されているようです。いきいきサロン
- ・老人でも(若い方もいる)すぐに仲間に入って話し聞いたり語ったり、お茶出し片付け等して一週間に一回3時間程度時間を過ごします。なかなかほとんど同じ方なので、難しいなどとも思いますが、私個人は、楽しみにしています
- ・カフェ梅屋安否確認、話し相手
- ・としよりの集まる日には毎週ではなく農閑期数人でも集まり楽しく話をします。9時から4時おにぎりのべんとう持参です
- ・福寿会(75〜85才)の方が月1回お茶会
- ・いきいきサロン、方地公民館
- ・語らいの相手と場所がある。教材も有。近所高齢者の集いが出来る。場所もある(少人数)
- ・あじさい会の高齢者の方に月1回誕生月に花プレゼントなどして頂く。
- ・高齢者の方が誕生月お花をプレゼントしてくれる。毎月あじさい会としていろいろしてくれる。
- ・泊園の部落にサロンの役割でさくら会があり、公民館で楽しくいこいをして頂き体操やお茶会、花見、紅葉いろいろと行事をして取り組んでもらいます。その他絵手紙で生協の方や仲間と一か月に一度中央公民館で集まり体重測定、世話役は民生委員、女性会の方々
- ・サロンの集まりがあるとき等、ゆりりんメイトで体操、脳トレ、お口の体操など
- ・いろりばた(高齢者クラブ)毎週参加。

⑤ 保健福祉会

- ・高齢の一人よりの方の除雪をされていた。
- ・私ではありませんが家の嫁さんが言っています。区長さんから近所の一人暮らしの人2人名指しで気を付けて上げてくださいます。この間も一人の人の家に電気がついていないと心配していたので、私が親戚に電話して聞いて解決した事がありました。
- ・近所の保健委員さんが親切に声掛けして下さいます。
- ・高齢の一人住まいの人の見守り
- ・近所の独居老人の方を時々買物に軽トラ等で連れて行ってあげてる方を数人見ている。
- ・老人クラブで、川や公園の草取り、又、神社の掃除等している。
- ・声かけ
- ・保健福祉委員会があつて10名くらいの組織
- ・愛の輪支援員が見守り活動を行っている
- ・町内(団地内)の保健推進委員の方が、ご夫婦でイベント等々ある時は、案内を配るだけでなく、メールであつたり直接だつたりと声掛けをしてくださっています。

⑥ 愛の輪

- ・愛の輪協力委員の単身高齢者の見守り活動。
- ・愛の輪だつたと思いますが、近所の高齢の方に、声掛けをしたり病気等の時には医者に連絡する又は連れて行く等をする役目を受けさせて頂いて居ましたが、現在は自分自身の体調に不安があるため役目を外してもらっています。
- ・愛の輪(近所の人)
- ・私自身が班の愛の輪協力委員をやっているので独居老人の方の世話を少しやっています。言葉が少し不自由な方の集金等をやっています。平日は仕事をしているので、何かある時は隣近所の方に気にかけてもらい、気づいた事があれば知らせてくださいます。

⑦ 家族

- ・私は車にのれないから主人に手伝いをしてもらう
- ・近くに住む娘がいるので、日曜日に一週間分の買い物をお願いしています。(勤めが忙しい)

⑧ その他

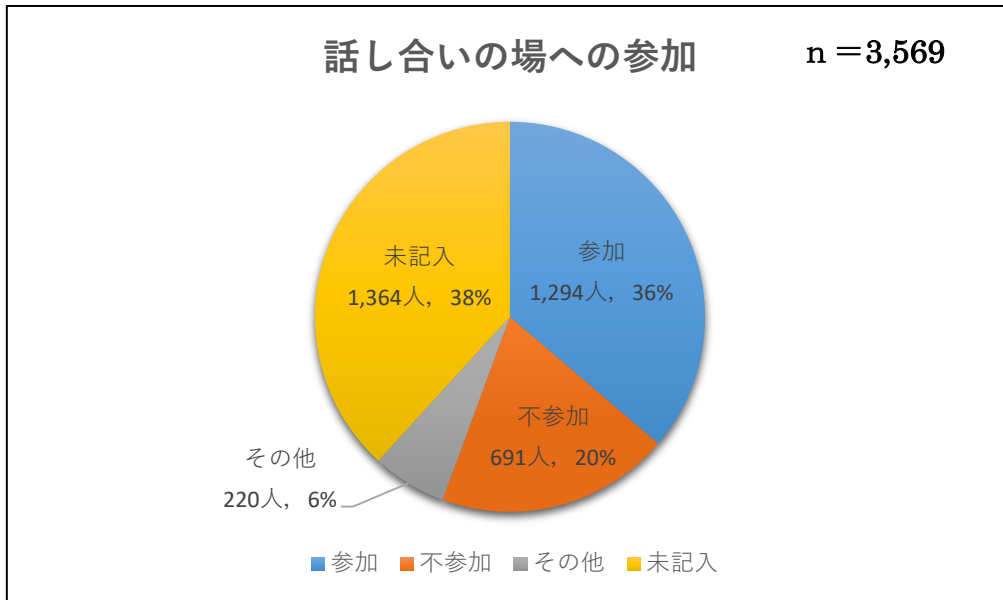
- ・町でなく地域独自は情報がありません、あれば教えてくださいね。
- ・部落及び町連携とくに農業関係。団体生活にかかせないと思います。
- ・体力づくり自主的に
- ・シルバー人材でいろいろやっている。(ボランティアも含む)
- ・隣の空き地の草取り、土手の草取り、道路の草取り大変、自分が何時まで出来るか心配。

【記述内容から意見・要望等抜粋】

- ・独り暮らしの人は、デイサービスに行かれる人が多く、あとは家族と暮らしているので困り事はあるとしても口出しは出来ない。近所の高齢者の方は、一軒の家に集まり楽しそうにお茶などしている。高齢であってもゴミだしをしたり元気な方々が多い。私を必要としているとは思えない！
- ・以前は老人クラブがあり、長年関与してきたが、今はない。個々のあり方、日々のあり方が判らないのできになる。淋しいね。
- ・特にありません。私には人を引っ張って行く力もないのに地域の活動が少なく寂しい思いもしますがしかたがないと思うしかありません。何か地域で活動があっても参加者が少ないのも事実です。家に閉じこもってなく徒歩で集まれる地域活動があればうれしく思います。
- ・公民館に開放日をつくりだれでも自由に利用できるようにしてみたい
- ・町でなく地域独自は情報がありません、あれば教えてください。
- ・余計な事をすれば…という思いである。うわべだけのおべんちゃらなどいらないですよ、本気でつきあいたい。
- ・仕組みがないのか関わっていないので分からない。
- ・具体的な取り組みではないが要望として～。高齢化が進み特に独居で高齢の方は元気そうで無理をして生活している方は多いと思います。愛の輪推進員を配置されている方でもお互いの意思の疎通の度合いは個々によって異なり、一歩踏み込んでの状況までの把握がむずかしいと思われ民生委員も広範囲できめ細かい見守りが出来ないのが現状です。最近西部の方で民意の県下初の支援員が制度化された報道をみて、わが町も早々に立ち上げられるべきと思いました。より細かな活動が展開されスピーディに予防対策が取り組めるのではと思う。独居ばかりでなく老夫婦世帯や昼間の独居も対象にされたい。支援員経費より費用対効果はあると思いますが～
- ・年齢が高くなり、できることがあってもその気にならない
- ・今の人は家の中にいてなかなか外には出られないから
- ・高齢者家族、一人家族のおうちは生活道路の雪あけをお願いしたい
- ・災害時もあることが考えられるので普段から近所への付き合い、声かけ運動が大切だと思う。
- ・フルタイムで働いているので、今のところ近所の方との交流はあまりありません。
- ・現在ご近所に手伝いが必要な方(家族)がいません。
- ・愛の輪協力員制度(?)があるが、一人が3～4人位の老人の協力員になっているのが少々おかしいです！
- ・どの家にも声をかけてあげたい。
- ・女性の方に比べ、男性は体操教室、昼食会、ティータイム等集って楽しむことが少ない。グラウンドゴルフが少し活動されているが、交流の機会がほとんどない。
- ・地域ボランティア組織作りを支援してはどうでしょうか
- ・町内会で「助け合い」が必要と思いますが、中には、協力的でない人もあり、全体での取り組みはむずかしいと思われ。以前に比べて、向上していると思われ。
- ・高齢化が非常に進み、年寄のみの行事になってしまう。色々な催しが限られて来た。
- ・老いていく、そして動作他のものがすべてにぶくなる。他方植木を管理せずカーブミラーを見にくくしている。なんとかしてほしい。よく言う、個人の財産だと、ならば交通事故が起きたら知らん顔か。
- ・農業(梨、米)主体で、農業関係の友人が多く現在は家族内でうまくやっている。作業がいそがしくあまり外の事業は出席できない
- ・個人的にではなく、公民館活動として取り組みたい

問 10 お住まいの地域で、それぞれがしていること、してみたいことを誰かの困っていることにつなげるような話し合いの場があれば、参加してみようと思いますか。（1つに○）

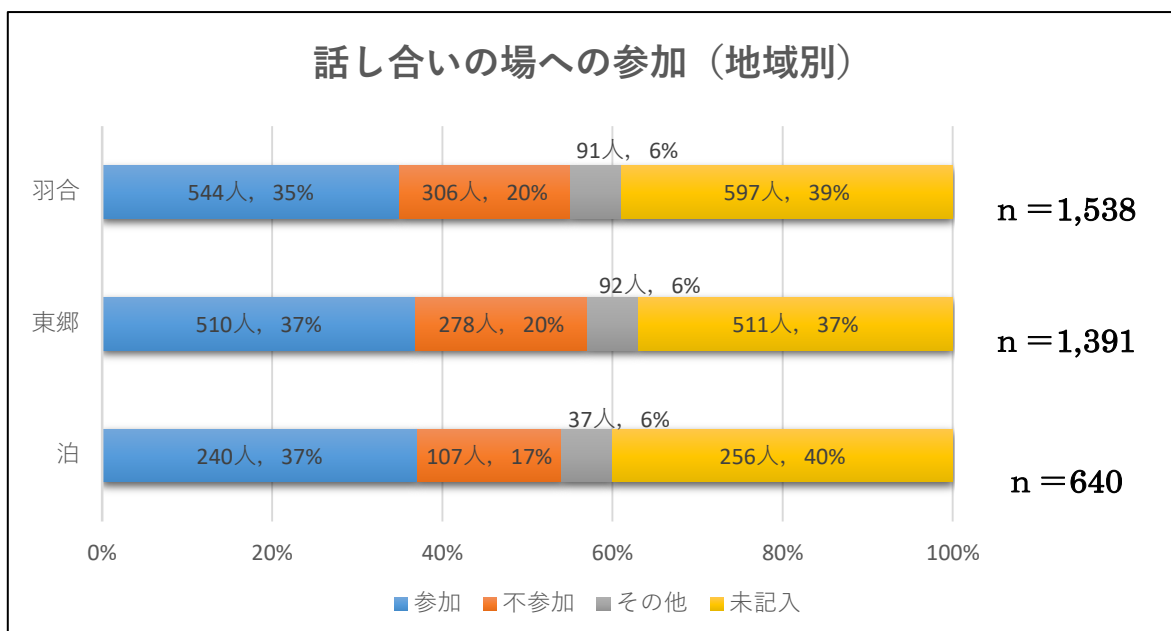
話し合いの場への参加については、「未記入」が38%と最も多かったが、回答者のうち「参加してみようと思う」が36%、「参加しようとは思わない」が20%となり、参加意思のある方が多かった。



また、「参加しようとは思わない」の理由の主なものについては下記のとおり。

- ・（仕事・農作業が）忙しい。
- ・高齢のため。
- ・足、腰、膝等が痛い。体調不良。
- ・自分のことで精いっぱい。
- ・人づきあいが苦手。

地域別の状況は下記のとおり。



問 11 あなたの趣味や特技を活かして地域での助け合いや支え合いの仕組みづくりにご参加いただけることがありましたら、ご記入ください。

【主な回答内容】※同一回答はまとめ済

- ・畑仕事
- ・看護婦だったので相談や介護予防等の手助け
- ・オートバイツーリング、車での観光ドライブ[県外)
- ・折り紙の指導
- ・いきいきサロン
- ・楽器の演奏、指導(ウクレレ・オカリナ・箏・三弦)
- ・囲碁、将棋、麻雀
- ・卓球
- ・介護経験がいかせること
- ・食器洗い
- ・味噌、豆腐、こんにゃくづくりの指導
- ・絵画(油彩)の指導
- ・盆栽(鉢植え)
- ・生花の指導
- ・人権擁護委員としての困りごと相談
- ・地域の歴史の紹介
- ・電気工作
- ・カラオケ指導
- ・実働的な自主防災
- ・ゴルフの勧誘、普及
- ・児童への学習支援及び指導
- ・花植え、水やり等
- ・ちぎり絵の指導
- ・筋トレ、ストレッチ、ウォーキング、ジョギング、サイクリングなど
- ・高齢者クラブ
- ・紙芝居をつくり見ていただくこと
- ・ゴミ拾い、草刈り
- ・話を聞くこと
- ・成年後見活動の相談
- ・写真撮影
- ・日本画(水墨画)
- ・家電の簡単な修理、点検等
- ・”シニアにやさしいダンス”の紹介
- ・落語、歌、紙芝居
- ・航空機についての解説
- ・フェイシャル、ハンドマッサージ
- ・ステンシルアート(楽しい誰でも絵を描ける型)
- ・踊りのボランティア、指導
- ・グラウンドゴルフの勧誘、指導
- ・短歌会
- ・料理
- ・外国語(英語・中国語)
- ・外国人との交流
- ・パソコン、スマホの指導
- ・着付
- ・掃除
- ・大工
- ・剪定
- ・障子張り、網戸・襖の張替え
- ・ラウンドダンス
- ・傾聴ボランティア
- ・草刈り
- ・簡単な日曜大工仕事
- ・ボウリング
- ・ゆりりんメイト
- ・ゲートボール
- ・押し花の指導
- ・ソフトボールの指導
- ・ジグソーパズル
- ・社交ダンス
- ・お茶(茶道)の指導
- ・剣道の指導
- ・お菓子作り
- ・アマチュア無線
- ・山歩き
- ・編み物、縫物、手芸
- ・配食弁当作り
- ・漬物づくり
- ・絵本の読み聞かせ
- ・保育援助
- ・染織技術の指導
- ・野球の指導(スポ少)
- ・ボランティア活動

第3章 アンケート結果からの考察

このアンケートは、高齢者の日常生活における支援の仕組みづくりに向けた取組みを検討することを目的に実施しましたが、問3の「生活する動作等のなかで不安や困っていると感じていることはありますか。」に対し、「ない」が2,305人(65%)となっており、6割以上の方が生活する動作等に不安や困りごともなく生活できていることが伺えます。また「ある」と回答した940人(26%)のうち、問3-2の「問3で不安や困っていると感じることがあると答えられた方は、どのように解決されていますか。」で「解決できずに困っている」と回答した方はわずか11人(1%)であったため、ほとんどの方が日常生活では困っていないまたは困っていても自助や互助により解決できている状況が伺えました。

このような状況であることから、高齢者の日常生活における支援の仕組みづくりについては、今ある制度やサービスを利用しやすくするとともに、現状を長く維持するための取組みを推進していく必要があると考えられます。

例えば、問3の「生活する動作等のなかで不安や困っていると感じていることはありますか。」の回答のうち、「ない」の次に多く回答されたのは「遠方への外出」で、アンケート回答者の約10%がそのように感じておられるとの結果でしたが、問2-④の「普段の主な外出方法」では61%が「自動車」と回答されているため、なるべく長く安全に自動車の運転を続けるための取組みも必要ではないかと考えます。また、これらの方々が将来的に免許を返納した後の移動支援については、バス定期券助成、のり合いバス、タクシーチケット助成等を継続しつつ、既存制度の拡大や新たな取組みについて検討することも必要になってくると思われれます。

問9の「あなたがお住まいの地域で、問8のような「助け合いや支えあい」の仕組みや似たような取組みがあれば、どのような方がどのようなことをしているのか、その内容を教えてください。」との問いに対して回答が多かった「いきいきサロン」や「愛の輪協力員」については、継続して活動していただくための取組みが必要だと思われれます。

さらに、問9に対し「特にない」、「知らない」、「分からない」と回答された方も多くあり、「町でなく地域独自(の活動)は情報がありません」というご意見もあったことから、それぞれの地域で行われている助け合いや支えあいの取組みを周知していくことも必要だと感じられました。

問10の「お住まいの地域で、それぞれがしていること、してみたいことを誰かの困っていることにつなげるような話し合いの場があれば、参加してみようと思いませんか。」については1,294人(36%)の方が「参加してみようと思う」と回答いただいております。実際に話し合いの場を設定し、アンケート結果を示したうえで、いつまでも住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような取組みが必要か、現状で満足しておられるのならばその現状を維持していくためにはどうすればよいか、また、生活支援コーディネーターがサロンに出かけた際、参加者から「困っていることがあってもどのようなサービスがあって、どこに頼んでいいのかわからない。」「内容がわかるものがあったら頼みやすい。」との意見もありました。

このようなことから、地域での支え合い体制の整備については、地域のニーズの把握、必要な支え合い活動に対する支援内容の検討、支援制度の周知・啓発をしていくことができれば、地域における高齢者の生活支援ができると考えられます。

今後は、地域においての話し合いの場を設定し、このアンケートの地区ごとの集計結果を示しながら、自分たちが暮らす地域での支え合い活動の現状の課題点、課題解決に向けた取組みについて考えていきたいと思っております。